

「地域環境の開発と保全に関するアンケート」調査票

■ 始めに、実際にこれまで経験した地域環境問題について質問した。

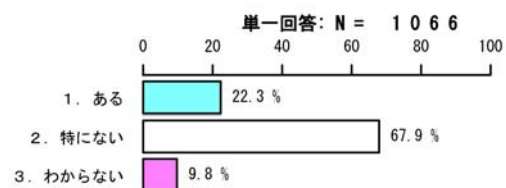
問 1

あなたがこれまで住んできた地域で、地域住民の安全や健康への被害、あるいは生態系などの自然環境への影響が心配される工場や施設などの建設が計画されたことはありますか？ ※実際に建設されたもの、計画だけが出されて実際には建設されなかったもの、現在計画中のもの、いずれでも結構です。

※あなたがそこに住んでいた期間に問題となったものについてお答えください。

ダム、干拓、道路、

約 2 割強の人がなんらかの形で住居近くの開発計画を経験している。ただし、これには、実際に進められた開発だけでなく、計画のみで廃止されたものも含んでいる。



▽次の質問から問 28 までは、問 1 で「1. ある」と回答した人のみを対象とした回答である。

問 2

それは具体的にどのような施設の建設ですか？ 差し支えない範囲で教えてください。

※複数ある場合は、あなたにとって最も印象の強いもののひとつについてお答えください。以下の問には、その施設についてお答えください。

住居近隣で、開発計画を経験したことがあると回答した 231 名に、それがどんな施設か具体的に聞いた。以下、建設の責任者別に列挙する。ただし、この「責任者」は、後の問 5 で回答してもらったもので、それが正確でないと思われる場合も含まれるが、回答者が開発者の能力やモラルに対しても持つ信頼や疑念を知る上では、回答者自身がどう認識していたかが重要であるので、そのまま分類した。

開発責任者が国の場合、ダム建設が最も多く、原発やその関連施設、干拓、米軍基地など、マスコミでも大きく取り上げられてきた問題に直面している人が多かった。県を責任者として、ゴミ最終処分施設、ダム建設などを指摘する人が多い。市町村は、その多くがゴミ関係で、焼却場や最終処分場、リサイクル関係であった。また、都市開発・整備にかかわる住宅地・商業地・工業団地造成も多い。全国的大手企業の場合、山林などを削っての大規模なマンション・宅地造成を指摘する人が多かった。他には、原発、火力発電所などもあり、携帯電話のアンテナなどを気にするも多い。地域的大手・中堅企業は、隣接する土地へのマンション建設、工場建設などの指摘が多い。中小企業やその他の業者では、産業廃棄物関係の施設やゴルフ場が多くあげられた。

国が開発責任者となっている施設：ダム建設（8 件）、出所者更正施設（4 件）、工場・宅地開発（3 件）、国道造成（3 件）、高速道路（3 件）、下水道貯留管、原発（2 件）、核燃料最終処分場、干拓（2 件）、米軍基地（2 件）、リニア

県が開発責任者となっている施設：ゴミ最終処分場（9 件）、PDF ゴミ発電所、産業廃棄物処理場（2 件）、ダム建設（6 件）、県道（2 件）、都市高速道路、社会福祉施設、商業施設造成、市営

住宅、県庁舎

市町村が開発責任者となっている施設：ゴミ焼却場（30件）、ゴミの固型化燃料を作る工場（3件）、ゴミ発電、汚水処理場（2件）、下水移動本体施設、下水処理施設、工業団地（7件）、宅地造成（2件）、商業施設用地造成（2件）、駅ターミナルと商業施設、海の埋立開発（3件）、道路（4件）、都市高速道路、地下貯水槽、農業用水、下水道管改造、公衆トイレ、ダム、変電所、高圧線の地下配送網、競輪場外券売場、庁舎建設

全国的に知られている大手企業が開発責任者となっている施設：マンション・宅地造成（21件）、携帯電話等のアンテナ（9件）、原子力発電所・関連施設（3件）、火力発電所（2件）、変電所、商業施設（3件）、ゴルフ場（2件）、工場の改修、生コンの施設

地域的に知られている大手・中堅企業が開発責任者となっている施設：マンション（12件）、宅地造成（3件）、工業団地造成、染色工場（2件）、メッキ工場、碎石場、ゴルフ場、道路、パチンコ店、特別養護老人ホーム

その他の民間企業・業者が開発責任者となっている施設：産業廃棄物処理場（7件）、廃棄最終処分場、ゴミ焼却施設（3件）、廃品のリサイクル会社、ゴルフ場（2件）、悪臭のひどい工場を建設運送会社並びに倉庫、老健関係施設、外国人労働者の集合アパート、養鶏場、性風俗店

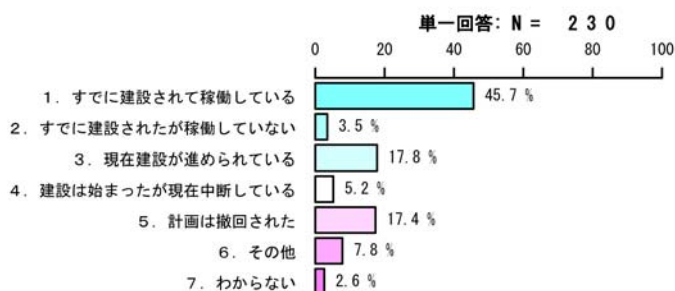
個人が開発責任者となっている施設：アスベストが使われている建物の取り壊し、農地転用・アパート建設

開発責任者がその他、わからない、無回答の場合：空港（3件）、ダム建設（2件）、海の埋立開発（2件）、人工島、高速道路の建設（2件）、道路、ごみ焼却場、農業用水施設、河川工事、体育施設、パルプ工場（2件）、製紙工場、燃料製造工場、たばこ工場、携帯電話中継局商業施設・駐車場、堆肥施設、屠殺場、老人ホームと自然の家、マンション、ラブホテル

問3

現在その施設はどうなっていますか？

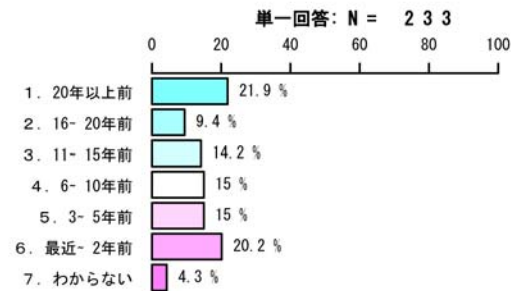
大半の開発計画が実行に移されているようだが、建設されたまま稼働していないもの（3.5%）、建設が中断されているもの（5.2%）の他、計画が撤回されたものも17.4%存在した。「その他」としては、「（開発が実現したかどうかはそれぞれだが）計画が他の地域に移された」という回答が多かった。



問4

それはいつ頃のことですか？施設建設の計画が住民に知られるようになった時期をお答えください。

こうした問題は、以前から最近まで何らかの形で継続しているようだ。そうした中でも、住民が開発計画を知った時期で見ると、2年以内の比率が若干高い。



問5

その施設の建設側の実質的な責任者は誰ですか？

計画主体もそれぞれだが、市町村が実質責任者となっている割合が比較的高い。

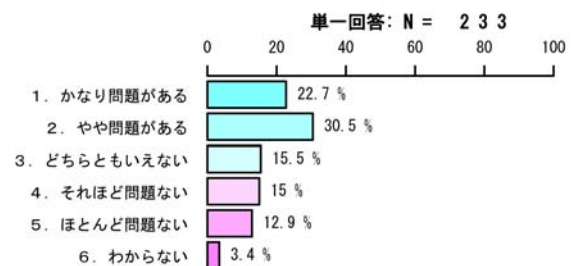


問6

あなたご自身はその施設の安全性についてどのように評価されていますか？

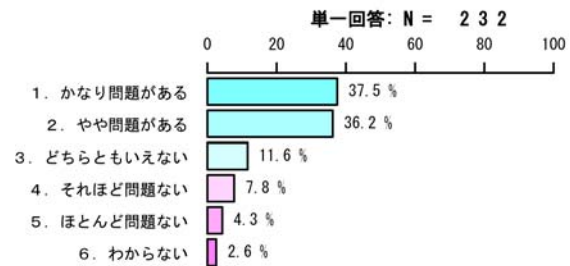
（1）地域住民の健康にとってどうですか？

開発が地域住民の健康に及ぼす影響を懸念する声が、「かなり問題がある」「やや問題ある」をあわせて 53.2 %存在した。



（2）自然環境にとってはどうですか？

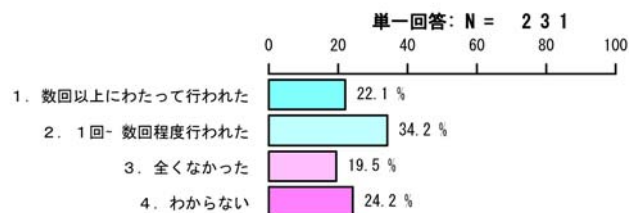
開発が自然環境に及ぼす影響を懸念する声は、さらに多く、「かなり問題がある」「やや問題ある」をあわせて 73.7 %に達する。



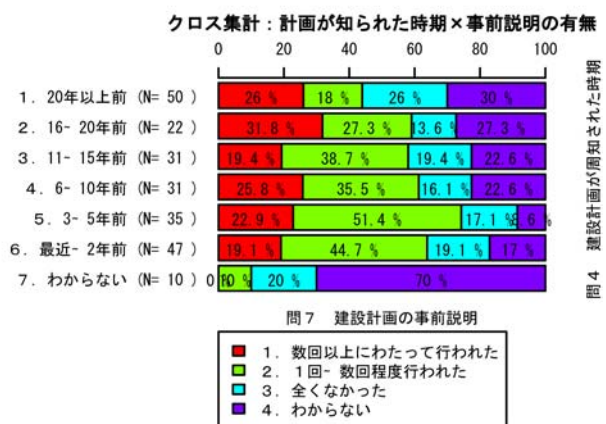
問7

施設の建設が始まる以前に、その安全性について建設者側からなんらかの説明がありましたか？

今回の調査では、開発に際して、事前説明が有ったか無かったかが、開発計画の実施以降の住民と開発側との信頼関係にどのように影響したかを見ることを一つの課題としている。開発に際して、57.3 %の人が何らかの事前説明を受けている



事前説明の有無を、計画が知られた時期別にしてみた。20年前よりは、事前説明を行う割合は、若干ではあるが、増加しているようだ。



問8

説明はどのように行われましたか？

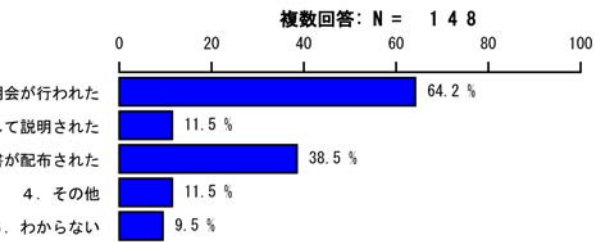
説明の方法として
は、住民を集めての
説明会が64.2%と、
最も多く、続いて文
書の配布による説明
が38.5%だった。「そ
の他」としては、自
治会役員や地区評議

員、あるいは地権者のみへの説明に留まったものや、住民代表者のみが質問に行ったという回答、
国会で質疑などがあった。

問 9

その説明は主に住民側と建設者側のどちら側の申し出または要望で行われましたか？

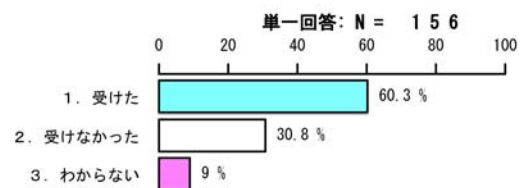
説明会がどちらの申し出で行われたを聞
いたところ、44.8%が建設者側からの申
し出で行われているというようであるが、
住民側からの説明を要求して行われたと
する回答も29%存在した。



問 10

あなたご自身は、直接説明を受けるか配布文書を読むなどして、施設の安全性の説明を受け
ましたか？

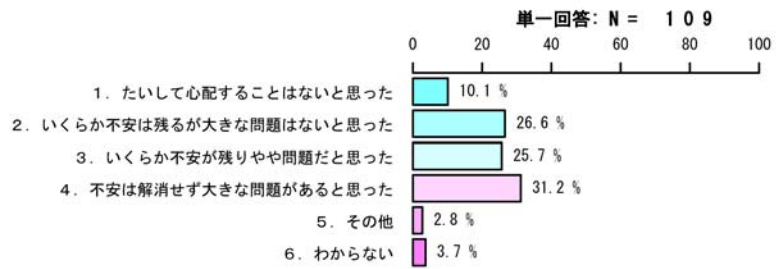
説明が行われていたとしても、必ずしも住民全
員が説明を受けるわけではない。直接説明を受け
た住民は、60.3%である。



問 11

あなたはその説明で施設の安全性について納得できましたか？

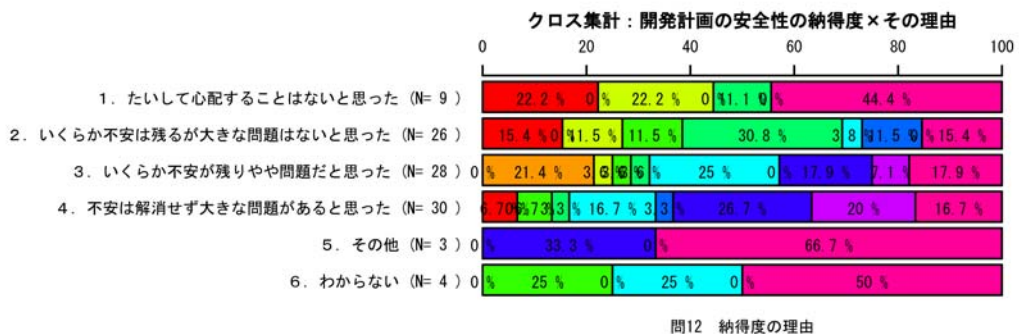
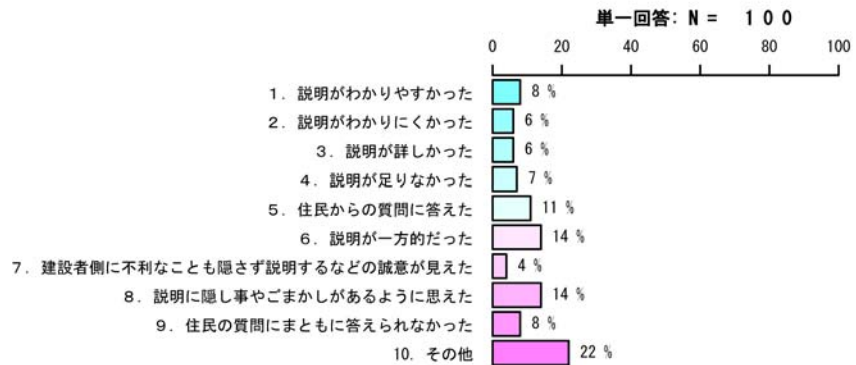
問 11 で、開発計画の説明を直接受けたことがある、と回答した人に、その説明で施設の安全性が納得できたかどうかを聞いた。36.7%の人が、ある程度納得したと回答しているが、25.7%の人が「やや問題」と回答し、31.2%の人が「不安は解消せず、大きな問題がある」と回答している。



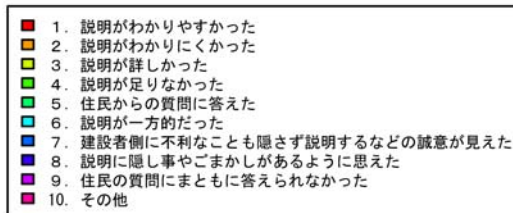
問 12

あなたが問 11 のように思った最大の理由は何ですか？

開発計画の安全性についての説明が納得できた、あるいはできなかった理由を答えてもらった。説明が一方的だったり、説明に隠し事やごまかしを感じたとする回答の割合が高いが、これは納得度によるのでクロス集計を行った。



問11 開発計画の安全性の納得度



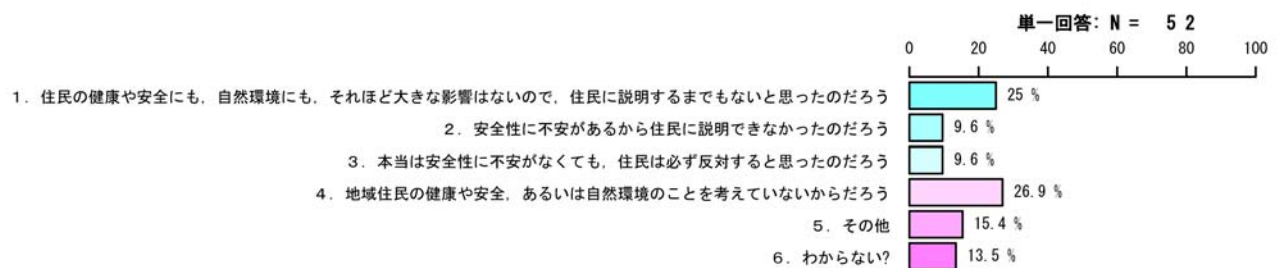
納得できた人は、「説明がわかりやすかった」「説明が詳しかった」の指摘率が高いのに対して、納得できなかった人は「説明が一方的」であったり、「隠し事やごまかし」が感じられたことを理由としてあげている。特に、「大きな問題がある」と思った人は、「住民の質問にまともに答えられなかった」ことを理由としてあげる人が多い。

「その他」の回答としては、納得できた人は、「人体への影響が科学的に解明されている」「同様の他の施設を見ているので」といった回答があった。なんらかの不安を感じている人は、「将来のためどこかの地域が引き受けなければならない」が、「(市が主導の) 第三セクターによる大型開発」であることや、「要望に応じてもらえることともらえないことがあった」り、説明が準備不足で、「ひととおり説明しておけばよい」という感じであったりすることを不安視する人がいた。納得できない人は、「科学的に 100 %検証されていない」「健康被害の可能性がうやむや」であるのに、「基準はクリアしているからと言ってそれ以外の毒性の測定などは絶対にやらない」という態度や、「危険性について専門的知識のなさ」などが危惧されていた・また、「住民に十分な説明と了解を得ずに建設を始めた」「既成事実ができていた」ことが懸念となっている。

次に、問 7 で開発計画の事前説明が「3. 全くなかった」と答えられた人のみに対する質問した。

問 13

建設側は、なぜ建設が始まる以前に、住民に計画を説明しなかったと思いますか？



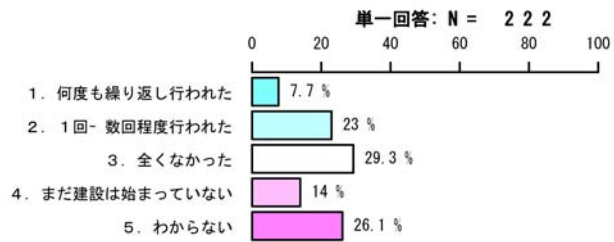
何の説明がない場合、住民は開発側の意図をどのように解釈かどうかを知るためにこの質問を行った。「地域住民の健康や安全、自然環境のことを考えていないからだろう」という回答が 26.9 %で最も多く、開発の安全性評価が高かったからだろうとする回答が 25 %存在した。こう回答した人には、住民自身も安全と評価している場合と開発者側の安全性評価の甘さを指摘する場合の2つのグループが考えなければならないだろう。

「その他」には、「(近隣ではあるが) 行政区域として域外になってしまうから」という回答や「計画以前に噂が流れて反対運動が起こったから」というものがあった。

問 14

施設の建設が始まって以後に、その安全性について建設者側からなんらかの説明がありましたか？ 1つに○印をつけてください。

建設開始後についての説明については、
30.7 %の人が1回以上「行われた」と回答している。



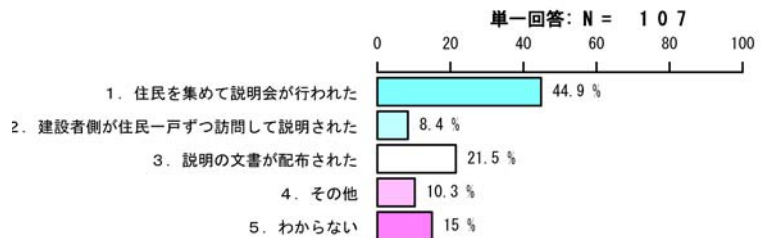
問 15

施設の安全性についての説明はどのような形で行われましたか？ 1つに○印をつけてください。

説明の方法としては、「住民を集めて」行われる説明会が44.9 %と最も多い。

「その他」としては、「見学会の開催」や「役員の家だけに説明」、「各種団体の代表者を集めて年一回の説明会」というものの他、「(各

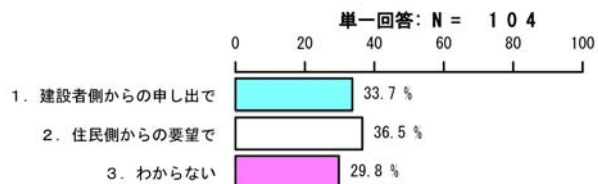
戸まわったが) まわるだけで、役所の人について、頭をさげるだけ」「マスコミを通じた言い訳」といった回答もあった。



問 16

その説明はどちらの申し出または要望で行われましたか？ 1つに○印をつけてください。

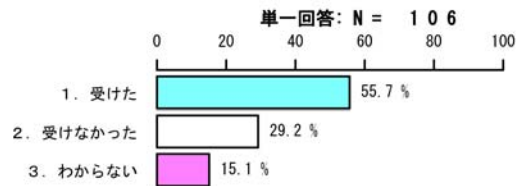
開始後の説明会については、住民側からの要望で行われるケースが、建設者側からの申し出で行われるケースを上回っている。



問 17

あなたご自身は、その説明会に参加するか配布文書を読むなどして、施設の安全性の説明を受けましたか？

なんらかの説明が行われたケースで、安全性の説明を直接受けたと回答した人は 55.7 % である。



安全性の説明を直接受けた人に、その説明の納得度を聞いた。

問 18

あなたはその説明で施設の安全性について納得できましたか？

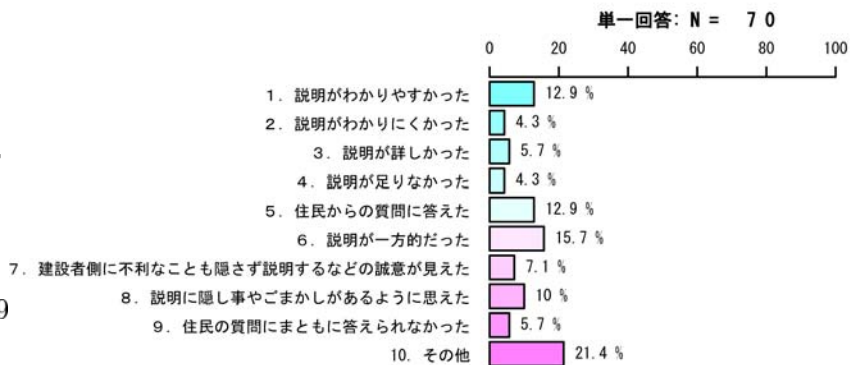
直接説明を受けた人のうち、「ほとんど問題ない」と思った人は 18.8 % で、大半の人がなんらかの不安を感じている。



問 19

あなたが問 18 のように思った最大の理由は何ですか？

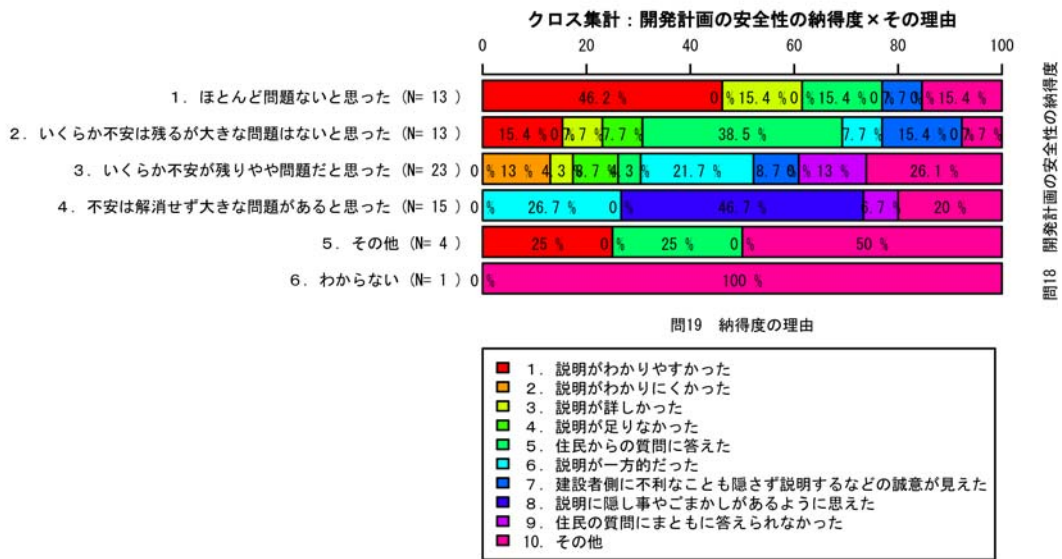
建設開始後の安全性の説明が納得できなかったかどうかの最大の理由を聞いた。肯定的な回答としては「説明がわかりやすかった」「住民からの質問に答えた」と評価する人がいずれも 12.9 % いるのに対して、否定的な回答では、



「説明がわかりにくかった」「説明が足りなかった」とする人は比較的少ない。それよりも「説明が一方向的だった」「説明に隠し事やごまかしがあるように思えた」という姿勢や態度を批判する声が多い。

「その他」の肯定的な回答としては、「市の第三セクターだから」という信頼があがっていたが、否定的な回答としては、「人体への影響が科学的に完全に証明されていない」「自然が損なわれると思い不安に思った」「最終処分場の構造の長期耐久性に不安が残る」「市が示す基準が甘すぎるような気がする」というリスク評価に対する疑念の他、「汚職が絡んでいた」といもの、「双方感情的で駆け引きが多く判断に困った」というものなどがあつた。

納得度でクロス集計した。



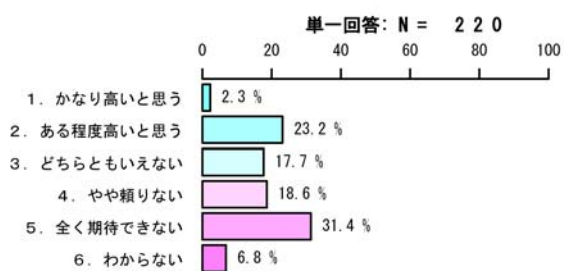
「不安は解消せず大きな問題がある」と思った最大の理由は、「隠し事やごまかし」を感じる説明、「一方的な説明」「住民の説明にまともに答えられない」といった姿勢や態度を疑うものが多い。

問 20

建設者側をどの程度信頼していますか？以下の項目について、あなたの気持ちに最も近いもの1つに○印をつけてください。

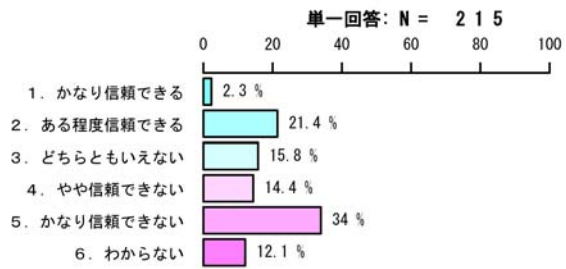
- (1) 施設周辺の住民の健康や環境への影響を正しく観測したり評価する能力は？
※ 専門家への調査を依頼する場合も含めて考えてください。

開発に際しては、通常、建設側の手によって、周辺住民の健康や環境に対する影響が評価されるが、こうしたリスク評価に対する信頼性を聞いた。信頼性というのは、「能力」に対する信頼性と、「モラル」に対する信頼性に分けられる。はじめに、リスク評価能力の方を聞いたところ、これが「かなり高いと思う」人は、2.3%に留まり、「ある程度高いと思う」人は、23.2%である。一方、「全く期待できない」とする人が31.4%、「やや頼りない」とする人と合わせて、否定的な人の割合は50.0%である。



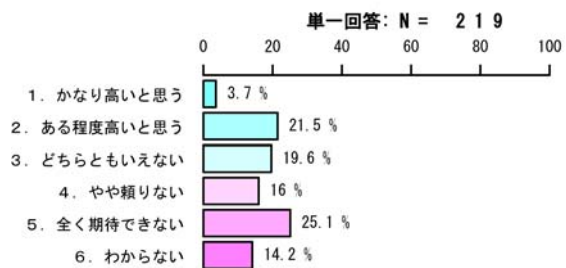
- (2) 施設周辺の住民の健康や環境への影響を観測したり評価した結果を、都合の悪いことを隠したりごまかしたりせず、正しく住民に伝えようとする姿勢は？

次に、リスク評価を行う開発者のモラル、つまり、リスク評価の結果について、都合の悪いことを隠したりごまかしたりせずに、正しく住民に伝えようとする姿勢についての信頼性を聞いた。能力に対する信頼性とほぼ同じ分布となっているが、「かなり信頼できない」「わからない」とする人が若干多いようである。



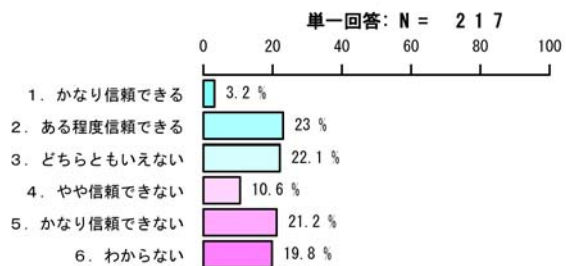
(3) 周辺住民の健康や環境に被害をもたらす事故が起きないように、施設の設備や人を適切に管理する能力は？

周辺住民の健康や環境に対する影響の心配は、リスク評価だけでなく、施設の設備やそこで働く人を適切に管理する能力とモラルに対してもあるはずなので、これについても聞いた。はじめに、施設の設備や人を管理する能力について聞いたところ、リスク評価の場合と似た分布となったが、「わからない」という人の割合が比較的多くなっている。



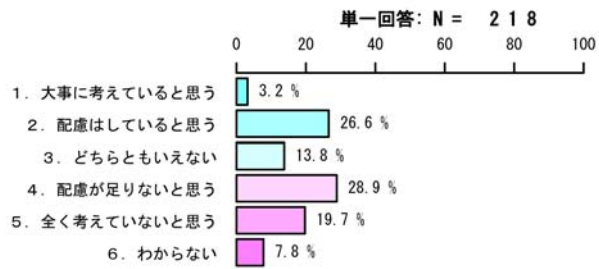
(4) 費用や手間を省くために施設の安全管理を怠ったりせずに、徹底して行うという姿勢は？

開発者側の施設の安全管理に対するモラルをどう思うか聞いたところ、これも同様だったが、「わからない」とする人が 19.8 %と、最も多くなった。リスク評価までは、想像がつくが、施設稼働まではよくわからないということだろうか。



(5) 地域住民の安全と健康,あるいは地域環境のことは？

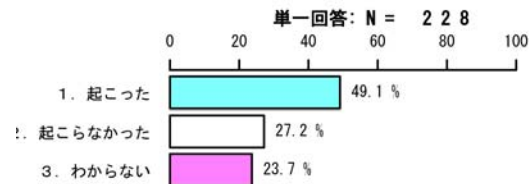
開発者が地域住民の健康や環境のことを真剣に考えていれば、リスク評価やリスク管理に対するモラルは保たれるはずである。これについて、周辺住民はどう考えているか聞いた。「大事に考えている」と思っている人はごくわずかだが、「ある程度配慮している」と回答した人が 26.6 %いた。ただし、「配慮が足りない」「全く考えていない」という人も、合わせて 48.6 %いる。



問 21

その施設の建設に対して地域住民からなんらかの活動が起こりましたか？1つに○印をつけてください。

施設の建設に対して、地域住民から、なんらかの活動が起こったとする人が、49.1 %いた。



問 22

その活動はどのようなものでしたか？行われた活動すべてに○印をつけてください。

問 21 の住民側から起こった「なんらかの活動」の具体的な内容を複数回答形式で聞いた。建設側との交渉話し合いが 64 %であり、署名活動活動が 47.2 %、ビラ等の配布、勉強会などが続いている。建設阻止活動も 24 %存在し、法廷への訴訟も 9.6 %あった。

「その他」としては、「市議会等への抗議」、「市役所への請願申請書提出」、「市長への要望書提出」、「所管、官庁部署の見解聴取」、「行政への陳情」等その他、「建設中止のカンバン設置」、「(高速道路ルート変更といった)計画見直しを求める運動」という回答があった。

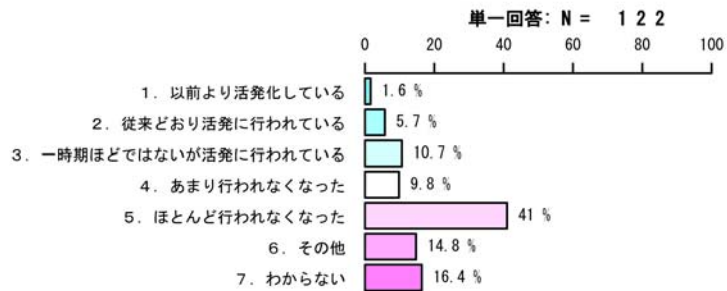


問 23

その活動は現在どのようになっていますか？1つに○印をつけてください。

住民活動のうち41%が「収束した」と回答しているが、27.8%は多かれ少なかれ、なんらかの形で行われてい」と回答している。

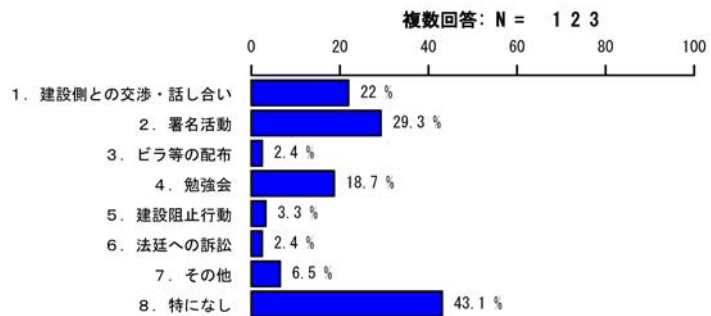
「その他」のほとんどが、計画が中止または撤回され、活動が終了したという回答であった。



問 24

あなたご自身は、その活動にどの程度参加しましたか？参加した活動すべてに○印をつけてください。

住民活動に回答者自身がどのような形で参加したかを、複数回答形式で聞いた。住民活動自体は、「建設側との交渉・話し合い」、「署名活動」、「ビラ等の配布」、「勉強会」の順に多かったが、回答者自身が参加した活動では、「特に無し」が43.1%と最く、「署名活動」、「建設側との交渉・話し合い」、「勉強会」の順となった。



「その他」は、問 22 の「その他」で回答された活動に参加したというものであった。

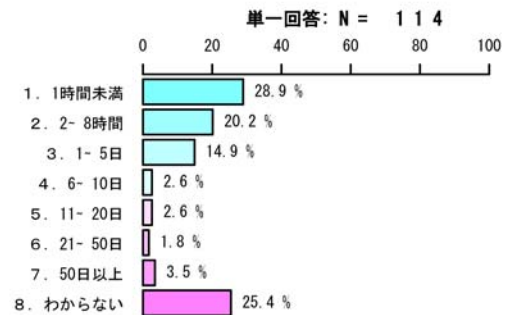
問 25

あなたご自身が、その活動のために費やした時間と費用をおおよそ見積もるとどの程度ですか？最も近いもの1つに○印をつけてください。

(1) あなたが費やした時間は、実働時間でおおよそどのくらいと思われますか？

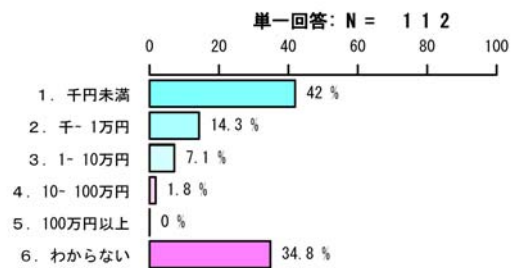
※以下は8時間を1日と換算してください。

住民活動に費やした時間を実働時間で聞いた。
1 時間未満が 28.9 %と最も多かったが、2～8 時
間が 20.7 %、1～5 日が 14.9 %、50 日以上とい
う人も 3.5 %存在した。



(2) あなたが費やした費用は実額でおおよそどのくらいと思われますか？

住民活動に費やした費用を実額で聞いた。千
円未満という人が 42. %であったが、1～10 万
円という人が 7.1 %、10 万円以上という人も
1.8 %いた。

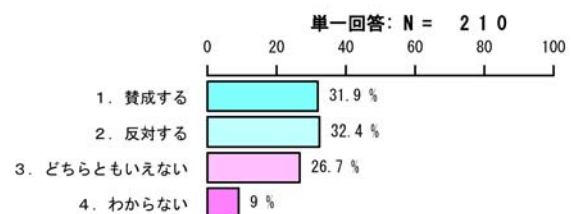


問 26

問題の施設を撤去して、環境を建設前のもとおりの状態にできるとします。もしも、税金を
使ってこれを実現しようという案がでたら、あなたはこの案に賛成しますか、反対しますか？
1 つに○印をつけてください。

※現実的ではない仮定かもしれませんが、あくまで「もしも」の話としてお考えください。

「あくまで仮の話」と断って、税金を使っ
て、環境を建設前の状態に戻せるとしたら、
その案に賛成するかどうかを聞いた。「賛成」
が 31.9 %、「反対」が 32.4 %、「どちらとも
いえない」が 26.7 %であった。



問 27

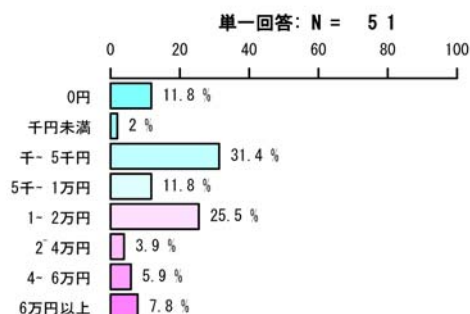
その場合一戸当たり年間いくらまでなら支払ってよいと思いますか？

※集めた税金は、環境を回復したり、関係者の損害を補償したりするために、5 年間継続するもの
とお考えください。

※実際に施設が建設されていない場合は、仮に建設されたものと想定してお答え願います。

一戸当たり年間（ ）円を5年間までなら支払ってよい

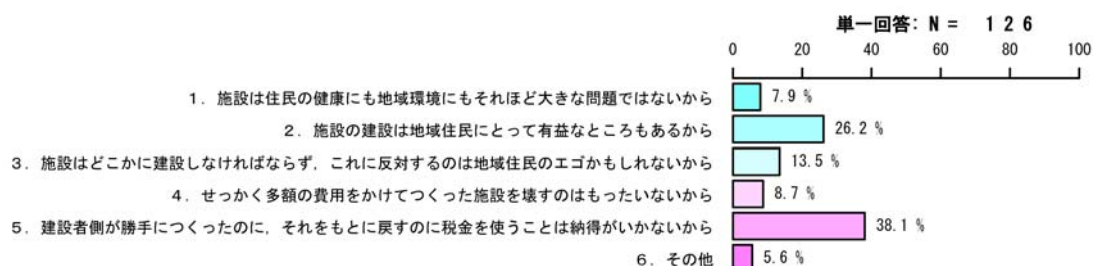
問26で施設建設以前に回復させることに「賛成」と回答した人に、それに対して最高いくらまでなら支払うことができるか、という支払意思額を聞いた。支払いは5年間継続で、年額とした。通常は、一方的に建設されたものであるため、これに対して支払いを行うというのは、抵抗感があるはずで、回答者のうち、11.8%は支払う意思はない回答したが、6万円以上の回答も7.8%存在した。



▽問26で「2. 反対する」「3. どちらともいえない」と答えられた方

問28

「反対」または「どちらともいえない」と答えられた理由は何ですか？最も大きな理由1つに○印をつけください。



問26で、すでに建設された施設を、税金で撤去し、環境を回復させることに「反対」もしくは「どちらともいえない」と回答した人に、その理由を聞いた。最大の理由は「建設者側が勝手につくったのに、それをもとに戻すのに税金を使うことは納得がいけないから」というもので38.1%、次に、「施設の建設は地域住民にとって有益なところもあるから」という必ずしも迷惑施設ではないという評価が26.2%であった。

「その他」の回答としては、「一度埋め立てられた灰の毒性がどの程度かわからない。思ったよりも低毒かもしれないし、すでに大規模な公園として皆利用しているから」「反対の人が多いのを説得して作ったものを今度はいらないと言って止めるのは最も無駄だと思います。それより完成すべきだと思います。本当に必要なものでなかったんですか、皆生活をそれにあわせていくように努力している」という意見があった。

ここからはみなさんにお聞きします。

■以下は、「もしもお宅の近くにゴミの焼却場ができれば」というお話です。

【事前説明あり】の場合

<<これはあくまで仮の話ですが>>

ある日のこと、あなたが現在お住まいの市町村から、あなたの家のすぐ近くにゴミの焼却場の建設を計画しているというお知らせが届きました。計画はまだ進んでおらず、市町村は計画を進める前に、周辺住民にこの計画の事前説明を行い、同意を得ようとしています。

【事前説明なし】の場合

<<これはあくまで仮の話ですが>>

ある日のこと、あなたは、近所の人から、現在お住まいの市町村が、あなたの家のすぐ近くにゴミの焼却場の建設を計画しているということを聞きました。計画はすでに進行していて、測量なども始まっているようです。地域の世話役の人が市町村に説明を求めたため、市町村は急遽、この計画の安全性について説明会を開くことになりました。

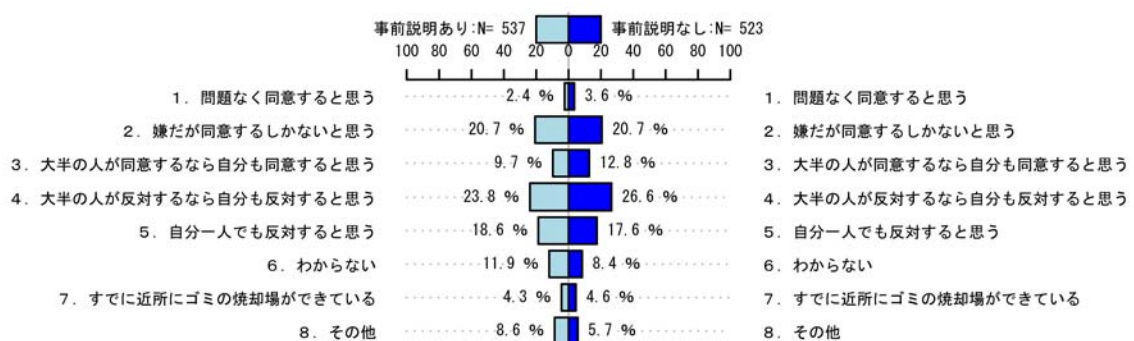
ここからは、「あくまで仮の話」であるとして、もしも近所にゴミの焼却場の計画が起こったという前提で、どのように思うかを聞いた。ただし、説明は2とおりあり、計画を進める前に、周辺住民に計画の説明を行った場合と、住民の同意なしに計画が進められた場合で、回答の相異を見た。

問 29（事前説明あり）

市町村からこの計画が知らされた時点で、あなたはこの計画に同意しようと思うでしょうか、それとも反対するでしょうか？あなたのお気持ちに最も近いもの1つに○印をおつけください。

問 29（事前説明なし）

この時点で、あなたはこの計画に同意しようと思うでしょうか、それとも反対するでしょうか？あなたのお気持ちに最も近いもの1つに○印をおつけください。



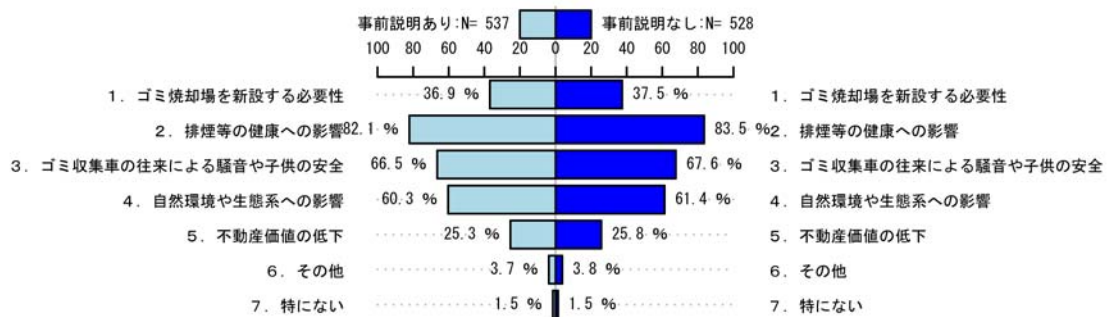
計画を知らされた時点、あるいは、進行中の計画を知った時点で、計画に対する賛否の気持ちを聞いた。事前説明があった場合となかった場合とで大きな差はなく、「嫌だが同意するしかないと思う」と「大半の人が反対するなら自分も反対すると思う」がいずれも2割程度となった。ただし、「自分一人でも反対すると思う」と回答した人も18.6%（事前説明あり）、17.6%（事前説明

なし) いた。

「その他」の意見としては、「説明を聞いてから納得いくなれば賛成するし、納得いかないなら反対する」「無条件に賛成も反対するようなことはしない」といった意見が大半であった。その他「現状でそういう施設が立地するとはとうてい考えられない」とする人もいた。

問 30

このような計画を聞いた場合、どんなことが心配になると思いますか？あてはまるものすべてに○印をつけてください。



ゴミの焼却場が近所に建設された場合、大半の周辺住民は、「健康への影響」「騒音や子供の安全」「環境への影響」を心配している。

「その他」の懸念としては、「収集や焼却場から出る臭い」、「収集車からのゴミのこぼれなどでの街の汚れ」、「地下水への影響」、「予想のつかない事が発生するかも?」といった実害があげられたほか、「ゴミ焼却場の近くに住んでいる第三者等からのイメージ低下」、「文化的価値の高い施設が数多くある観光地であるために、その価値の低下を招くのが心配」といった間接的な被害も心配されている。さらに、「焼却場や道路等の造成に伴うでの立ち退き等によって人間関係はどうなるかといった社会環境の変化」、「計画に対する意見の相違による住民同志の相互非難」などといった人間関係への影響を心配する声もあった。建設の必要性意外に、「必要性は理解するが何故ここなのか?根拠を知りたい」という立地選択の必然性を問うものや、「ごみ焼却場の運営に伴う財政への負担」、「市町村による税金の無駄使いではないか」、「公共事業に伴って出てくる天下りや税金の無駄遣い」といった、財政や行政を問うもの、そもそも「他国に比べて日本に焼却場の量が多すぎるのでは」という意見、「生産物としての活用性の検討(付加価値がでるか)」といった計画の内容についての意見もあった。

市町村の説明会では、計画されている焼却場の安全性について次のような説明が行われました。

- ゴミの焼却場は、市町村から出されるゴミを安全に効率よく処理するためにどうしてもその土地に建設する必要があるということ。
- 建設されるゴミの焼却場は最新の設備で、排出されるダイオキシン類やその他の化学物質による人体や環境への被害はまったく心配なくてよい程度だということ。
- ゴミの収集車が通学路や生活道路に集中しないように、これらとは別に、道路を整備し、子供の安全や騒音への被害を抑えるよう配慮されているということ。
- 生態系への影響については専門家に調査を依頼し、生態系への影響を最小限に抑えるよう配慮されているということ。

問 31

この説明について、あなたご自身を含め、他の説明を受けた参加者の誰も、不備な点やごまかしなど、特におかしいところを指摘できなかったとしたら、あなたはこの計画に同意しますか？



ゴミの焼却施設に対して、住民が抱く懸念に対して、市町村側からの説明があり、それに対して、とくにおかしな点が指摘されなかった場合、説明が事前だろうと事後だろうとにかかわらず、積極的にも消極的にも同意する人の割合は、計画を聞いた時点（問 29）よりは増加し、何らかの形で反対すると答えた人の割合は減少した。ただし、不動産価値の低下については、風評の部分も含まれるので、市町村側からは説明は行われていないものとして設問を設計してある。

問 32

このような説明を聞いた上で、さらに心配になると思うのはどんなことですか？ あてはまるものすべてに○印をつけてください。



市町村側から説明を聞いた後でも、依然として残る懸念を聞いた。「ゴミ収集車による子供の安全や騒音」への懸念が最も小さくなったが、「健康への影響」や「環境への影響」についての懸念の解消は限定的である。「不動産価値の低下」についての心配はほとんど消えていない。

「その他」に残る不安として、問 30 で「その他」として出された懸念（これについては説明が用意されていないので当然であるが）、アンケート調査票の説明文が拙いとする意見の他、説明が信用できないというもの、説明の実効性が信用できないというもの、長期的な問題などがあげられた。

問 30 で「その他」として出された懸念：「ゴミ収集車の出す悪臭」「ゴキブリなどの害虫発生」「地下水への影響」「市町村の財政」「ごみ焼却場の建設費と回収年数とその後のランニングコスト」「税金と政治の問題」「地域住民の間で賛成派と反対派が出るなど、住民同士の間関係連携が難しくなる」「（施設の必要性はわかるが）なぜこの土地でないとダメなのか」

アンケートの説明文が不十分とする意見：「上記の説明では、具体的な説明ではなく、一般的な説明でしかないため、心配はとりのぞけないと思う。」「上記の説明にきちんとした裏づけがあるかどうか？」「具体的ににならないとわからない面もある。」「説明があいまいで細かい部分がわかりにくい。もう少し詳しく説明していただきたい。」「＜被害は全くない＞や＜最小限＞・・・」という説明はもっと掘り下げるべきと思う「環境アセスメントのデータが必要（言葉だけではダメ）」「想定に無理がある（今の町では新たな道路を作れる土地などない。風致地区なのに、ここに焼却場を持ってくるのは不自然。）」

道路整備についての意見：「3 の安全確保のため作られる道路整備にかかるお金の負担源や生態系への少なからずの影響がある」「新しく道路を整備するという点」「道路整備対策の程度」「道路整備のために行われる工事」「道路整備をすることにより、貴重な市町村の（みんなの）お金が失われる」

安全性基準に対する不安：「一般的な基準が甘く、その基準や項目が実状と合っていない。シビアな基準だとお金も時間もかかり何もできなくなってしまうからか？」「安全面や必要性にどんな理由があれ、新設すること自体が、環境破壊や人体への健康が害されることは間違いない。」「子供の健康（ぜんそく等）」「子供達の将来の事が心配」「将来への影響が心配される。微量な化学物質など経年の排出による悪影響」「動植物の安全性」

なんらかの補償を求める意見：「イメージが悪くなるので何かのメリットがほしい」「継続的な調整と補償の実施」「建設される地区の生活環境整備促進」「消却した時の熱の利用など、地域住民にメリットとなるものを要求する。」

施設の必要性に対する疑問：「最小限になるゴミの分別等の教育に力点を！」「新設が必要という

ことは、ごみ減量の施設が進んでいないのでは。リサイクルも進んでいないのでは。今後人口減で不要になるのでは。」

約束の実効性や施設稼働後の安全管理に対する不安：「本当にこの通り（安全性）実行されるのでしょうか？ギモンです」「説明が事実か、環境整備が本当に実行されるか」「説明が正しかったことが実証されるか」「説明されたとおりに実施されるかどうか又、計画と実際に差が出た時の対応が納得できるかどうか」「説明されていた事項が、新設後にキチンと守られるものなのか」「説明通りになっているか、計画・設計の段階からチェック」「本当に約束を守るだろうか。予想外の何かがあった場合、対応してくれるだろうか。」「設置してしまうと（途中で問題が発生したり、約束が履行できなくても）中断できない」「焼却場の運用状況（定期的な報告と突発時の対応）」「想定外の事態になった時の対応（お役所仕事にならないか？→遅い 責任の所在等）」「思い掛けない事故の発生したときの対応」「快適な住環境にある場所にその住環境を乱す恐れ（二重三重の安全性が施されていても、それは一時的なもので、長期間では原発にみられるように必ず何らかの想定外の事故が起り得る）のあるゴミの焼却場は建設すべきではない（人の住まないような山に建設すべき）」「始めの何年から問題にならなくても10年後、20年後…先のことを考えると不安になる。メンテナンスがいきとどかなくて結局（1）～（4）が守られなくなるのではないかとゆー不安。」「維持経費削減等に伴い設備更新（新技術が開発された場合）が期待できない」「設備等の機器類の経年劣化した時の対応」「長期間の焼却施設管理に不安」「2や4については長期間使用されることで安全性には不安が残る。」

行政の説明の信ぴょう性に対する疑念：「説明が本当かどうか心配」「説明に誤魔化しはないといっても、不安は不安。」「説明は本当に公平な立場からのもので信頼できるものなのかどうか」「説明を受けた内容が本当に信用できるものかどうか不安材料」「本音と建前の違い、理想と現実の違いは多少なりともありうるので!!」「本当に毒性のある物質がもれてこないのか。役所の説明では信用できない。住民として調査しないといけない。」「都合のよいデータのみ説明があるので…。あやしい…。」「役人の言う事は信用出来ない」「役所のほうが嘘をついていないかだけが心配」「役所への不信感あり」「リスクについての説明が全くないことはないはず」「どの説明も100%信用できない」「はたしてダイオキシンが害がないのか？信用性」「行政が都合の悪い事実を隠していないか。」「行政は本当のことを云っているか不安。信用できぬ。」「計画説明の信頼性について」「計画内容の第3者評価を求める」「市町村の信頼度が低い」「安全性に関する報告・データの信ぴょう性」

その他：「反対者がいるのに計画を施行するのは、どうか、と思う。」「このような問題は理屈ではなく感情の問題で嫌なものは嫌」「近くに焼却場があるだけで、自分も住みたくないし、見た目もいやだし、周りからのイメージもよくない。」「それぞれの市・町・村の様子によるものであり、なんとも回答は困難」

問 33

あなたがお住まいの市町村が、この焼却場の建設を計画した場合、あなたはこの件に関して市町村をどの程度信頼できると思いますか？以下の項目について、あなたの気持ちに最も近いもの1つに○印をつけてください。

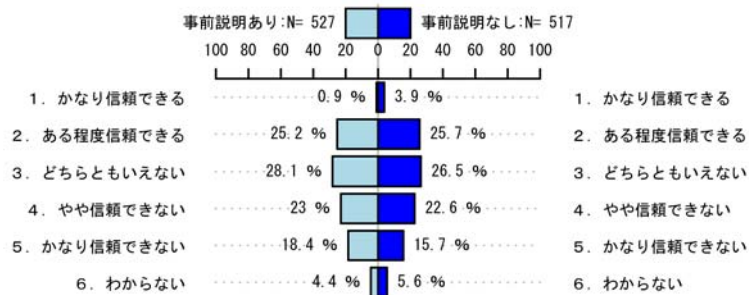
（1）焼却場周辺の住民の健康や環境への影響を正しく観測したり評価する能力は？

※専門家へ調査を依頼する場合も含めて考えてください。



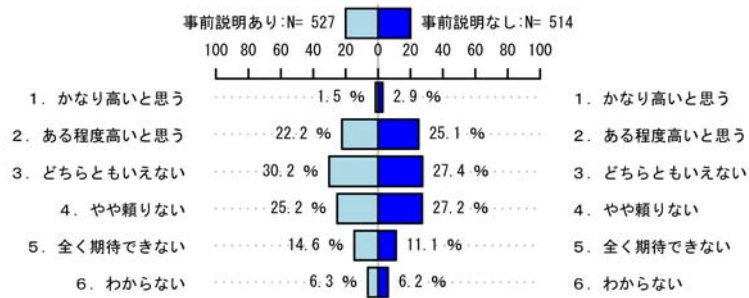
開発者が、現在住んでいる市町村だとした場合、どの程度の信頼があるかを聞いた。信頼は、能力に対する信頼とモラルに対する信頼に分けられ、能力については、リスク評価能力とリスク管理能力について分けて聞いた。このうち、リスク評価能力については、約4割の人が「やや頼りない」または「全く期待できない」と回答しており、「かなり高い」と回答した人はほとんどいない。

(2) 焼却場周辺の住民の健康や環境への影響を観測したり評価した結果を、都合の悪いことを隠したりごまかしたりせず、正しく住民に伝えようとする姿勢は？



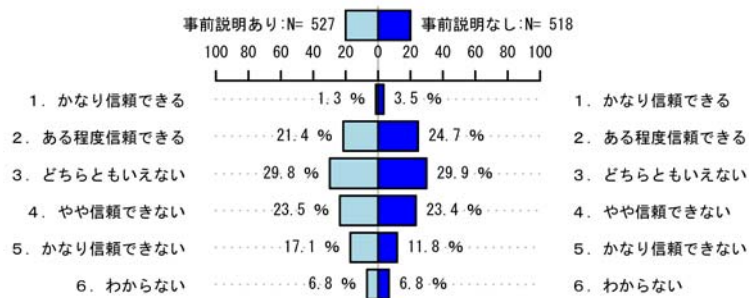
モラルについても、リスク評価におけるモラルとリスク管理におけるモラルについて聞いた。このうちリスク評価におけるモラルに対しては、約4割の人が「やや信頼できない」あるいは「かなり信頼できない」と回答しており、「かなり信頼できる」と回答した人はほとんどいない。これは、(1)のリスク評価能力に対する信頼性とほぼ同じ傾向である。

(3) 焼却場周辺の住民の健康や環境に被害をもたらす事故が起きないように、施設の設備や人を適切に管理する能力は？



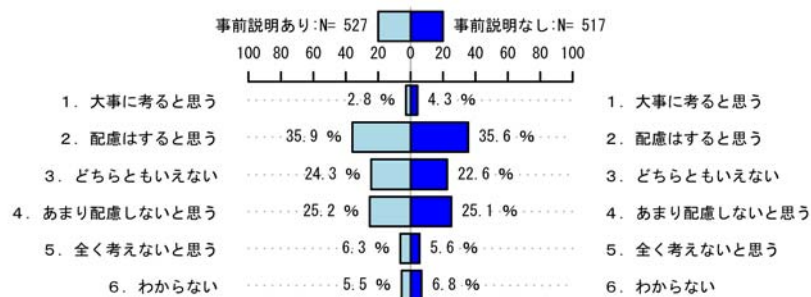
リスク管理能力に対する信頼性も、(1) のリスク評価能力に対する信頼性とほぼ同じである。

(4) 費用や手間を省くために焼却場の安全管理を怠ったりせずに、徹底して行おうという姿勢は？



リスク管理におけるモラルに対する信頼性も、リスク評価の場合と同じである。

(5) 焼却場周辺の住民の安全や健康、あるいは地域環境のことは？



そもそも開発者である市町村を、ひとつの利害関係者と見た場合、市町村が評価する利害関係の中に、住民の安全や健康、あるいは地域環境のことは含まれているのかが問題となる。それは、

リスク評価やリスク管理のモラルに影響する。これに対して住民はどう評価しているかを聞いた。焼却場周辺の住民の安全や健康、あるいは地域環境のことを「大事に考えると思う」と回答した人はほとんどいなかったが、「配慮はすると思う」と回答した人の割合は36%だった。

問34（事前説明あり）

実際に、あなたがお住まいの市町村がゴミの焼却場を新設することになったら、計画を進める以前に、周辺住民にこの計画について事前に説明し同意を求めると考えますか？1つに○印をつけてください。

問34（事前説明なし）

あなたがお住まいの市町村が、ゴミの焼却場の新設の安全性について、周辺住民へ事前に説明しないで計画を進めようとしたとしたら、あなたはそうにした市町村のことをどう思うでしょうか？最も近いもの1つに○印をつけてください。



ここでは、事前説明があったと仮定した場合と、なかったと仮定した場合とで、設問を変えた。まず、事前説明があったと仮定した場合は、現在住んでいる市町村が、実際に事前説明を行うと思うかを聞いた。46.1%の人が「事前に説明し、同意を求めると思う」と回答し、「住民が抗議でもしないかぎり、説明もなにもしないだろう」または「住民が抗議しても何もしないだろう」と回答した人は5%に留まる。

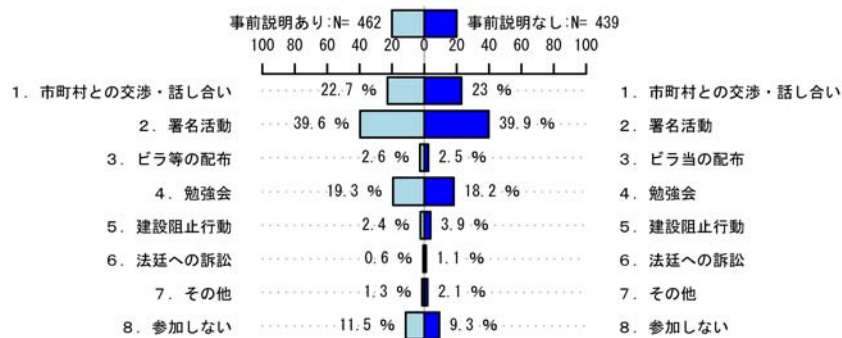
一方、事前説明がなかったと仮定した場合は、もし事前説明がなかったら、その理由をどう思うかについて聞いた。30.8%の人が「地域住民の安全や健康も、自然環境のことも考えていないからだろう」と回答しており、この回答が最も多い。続いて、「住民は必ず反対すると思ったのだろう」が27.6%、「安全性に不安があるから、住民に説明できなかったのだろう」が19%となっている。

事前説明がなかったと仮定した場合の「その他」の意見としては、行政の都合や姿勢・態度、利権の問題などが疑われている。他には、事前説明なしなどではありえないとする意見もあった。「住民の反対があっても計画を変更することが困難な為」「他に選択肢がないのだろう」「住民不在の地区行政」「責任を取るのを嫌っているのでは？と思う。」「特定の個人企業のための利益があるように思う。」「利権が絡んでいる」「政治家との不適切な関係を疑う。」「ふざけるな！」「マイナス要因の施設を作るのに、説明なしは考えられない」「事前説明なしで実行することは不可能と思う」「現在の行政では説明しないことはありえないと思います」

問 35

この焼却場の計画に対して、住民から白紙撤回を求める反対活動が起こり、これにあなたも参加するよう呼びかけられたとします。その場合、あなたならどの程度この活動に参加しますか？次の項目であてはまるもの1つに○印をつけてください。※この活動によってゴミの焼却場の建設は中止される可能性が非常に高いものとお考えください。

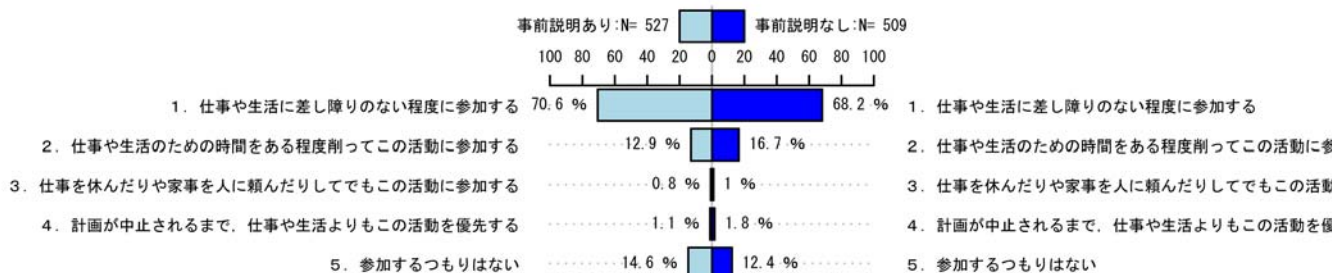
(1) どのような活動なら参加しますか？



反対活動が起こった場合、どのような活動なら参加できるかを聞いた。約4割の人が「署名活動」、2割の人が「市町村との交渉・話し合い」や「勉強会」に参加できると回答しており、「参加しない」と回答した人は1割前後と少ない。

「その他」には、もっと消極的な活動になら参加するという意見や、逆に、できることすべてという意見、状況や計画内容によるとする意見があった。「消極的参加」「署名への記入ぐらい」「意思表示のみ」「署名活動への協力。街頭活動ではなく、知人・友人に呼びかけて協力する」「国へ陳情する。」「出来ること全て」「状況による」「その状況（場）にならないとわからない」「計画内容による」「場合による。施設の必要性を考え、代替地が保障されないなら参加しない」「政治色があればノータッチ」「健康への危険があるならば6までの可能性あり」「事業による事もあると思う。」

(2) どのくらいの時間までならこの活動に時間を割くことができますか？



反対活動が起こった場合、どの程度時間が割けるかを、仕事や生活との関係で聞いた。「仕事や

生活に差し障りのない程度に参加する」と回答した人は約 7 割で、「仕事や生活はある程度削って参加する」と回答した人が 1 割強いた。

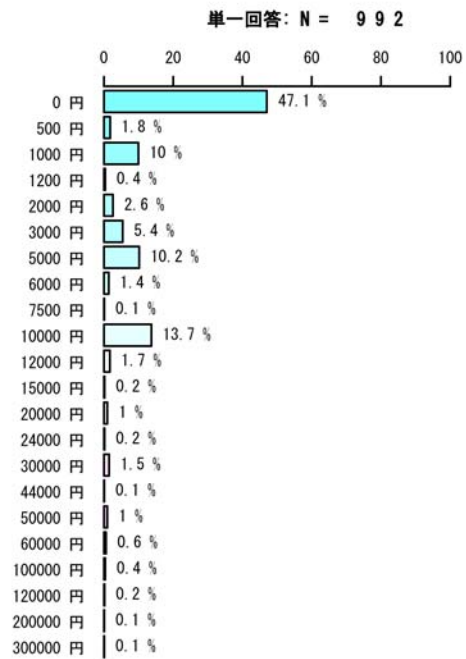
問 36

あなたが何かの事情で反対活動に参加できなくなって、相応の費用負担が求められたとします。あなたならこの活動にいくらまでなら負担できますか？

※負担するつもりがない場合は 0 とお答えください。

一戸当たり年間（ ）円を 5 年間までなら支払ってよい

反対活動に対する支払い意思額を、「参加する代わりに、相応の費用負担が求められた場合、いくらまでなら負担できるか」といった形で聞いた。47.1 % の人が負担するつもりがない (0 円) であったが、5 年間の継続支払いで、年間 1 万円と回答した人が 13.7 %、5,000 円と回答した人が 10.2 % であった。10 万円以上と回答した人も、1 % 未満と、わずかではあるが存在した。

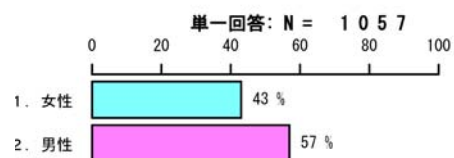


■ あなたご自身について教えてください。

問 37

あなたの性別について、あてはまるもの 1 つに○印をつけてください。

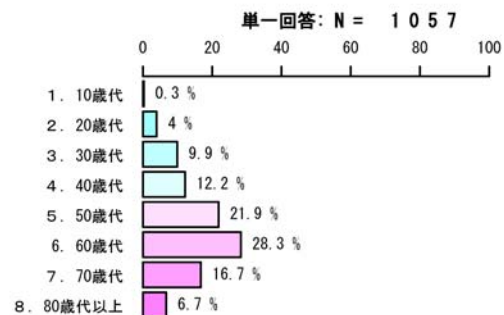
以下は、回答者の属性である。性別については、女性 43 %、男性 57 % と、やや男性の回答者が多かった。



問 38

あなたの年齢について、あてはまるもの 1 つに○印をつけてください。

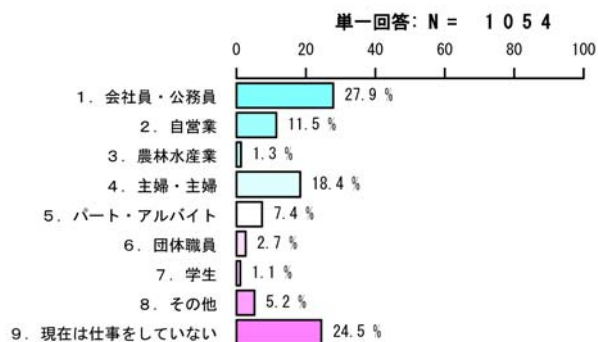
回答者の年齢は、60歳代が28.3%と最も多く、
20歳代以下は4.3%と少ない。



問 39

あなたの職業について、あてはまるもの1つに○印をつけてください。

回答者の職業は、会社員・公務員が27.9%、現在は仕事をしていない人が24.5%、主婦・主夫が18.4%、自営業が11.5%の順であった。



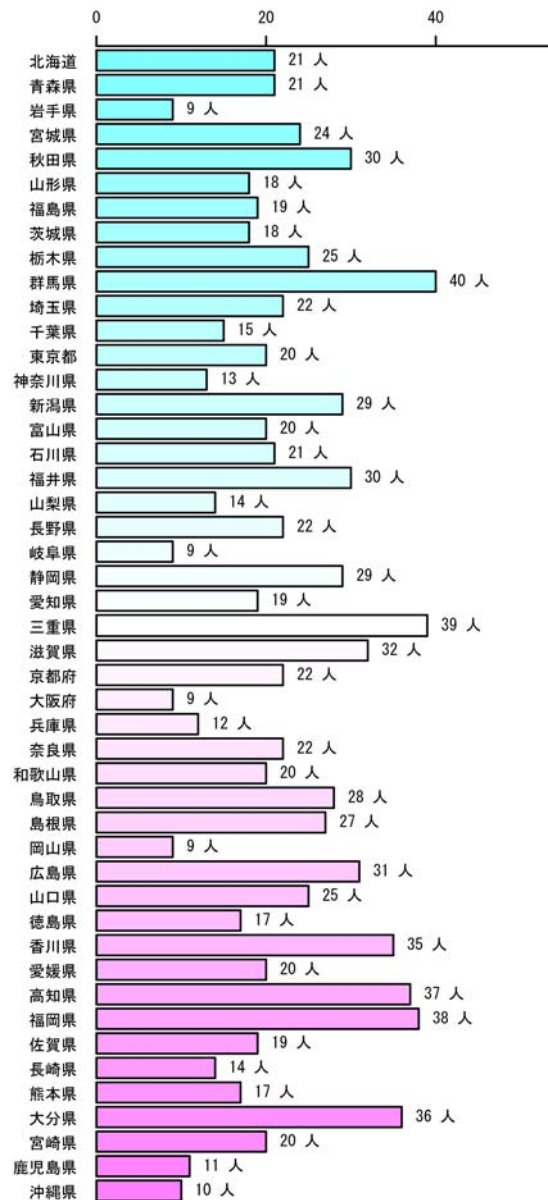
問 40

あなたが現在お住まいの都道府県はどこですか？

都道府県名 ()

47 都道府県にほぼ等数ずつ調査票を配布し、回収率に差はあるものの、全都道府県から回答を得た。

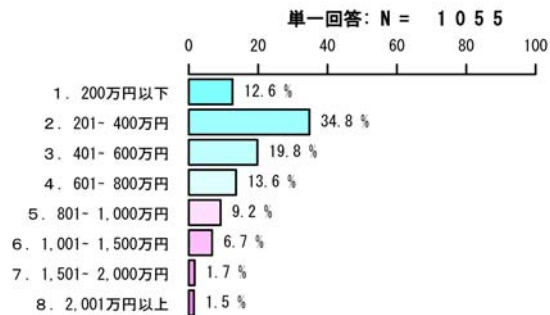
単一回答: N = 1038



問 41

あなたお家の年収はおおよそどのくらいですか?あてはまるもの1つに○印をつけてください。

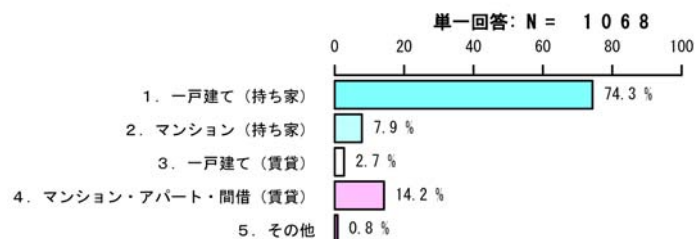
主に支払い意思額の分析に必要な年収も聞いた。



問 42

あなたは現在のお住まいはどのようなところでしょうか？以下のなかからあてはまるもの1つに○印をつけてください。

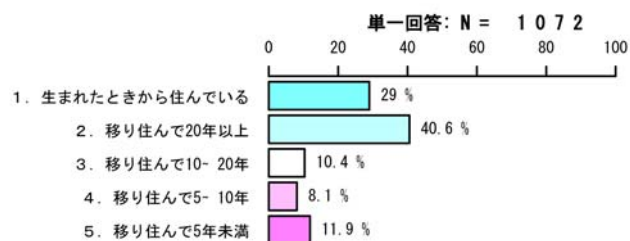
持ち家が賃貸か、一戸建てかマンション等かで、住環境への関心度は異なるはずなので、住環境についても聞いた。持ち家の一戸建てが74.3%であった。



問 43

あなたは現在お住まいの市町村に何年ぐらいお住まいですか？1つに○印をつけてください。

住環境への関心は、そこにどれだけ長く住んでいるかにもよると考え、これについても聞いた。7割の人が、生まれた時から住んでいるか、移り住んで20年以上という回答であった。

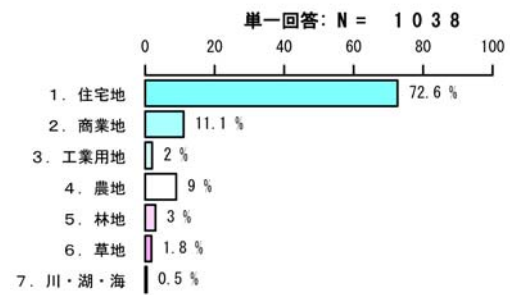


問 44

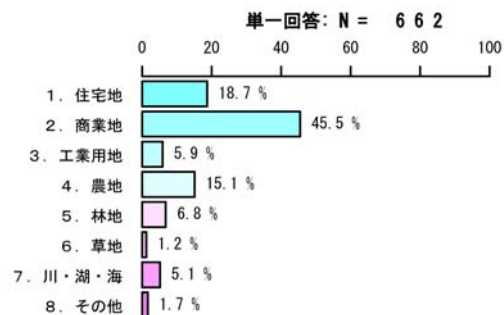
あなたがお住まいの地域はどんなところですか？次の中で5km四方を見渡したとき大部分を占めるものを、多いものから順に3つまで番号でご記入ください。

住居環境がどのようなところか、5km四方で占める土地利用の様子を、第3位まで聞いた。

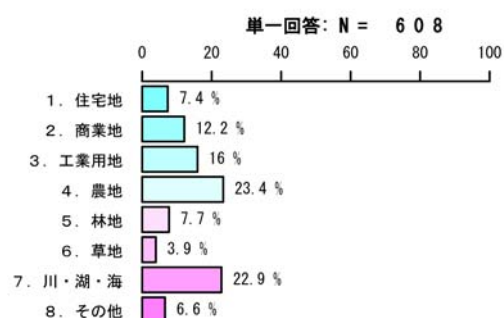
第一位にあげられた土地利用で最も多いのは住宅地で、72.6 %の回答率であった。次に、商業地（11.1 %）、農地（9 %）であった。



第二位を回答した人が約 6 割で、その 45.5 %が商業地と回答している。回答者の大多数が、ほとんどが住宅地のところに住んでいて、住宅地+商業地という人も多いようである。



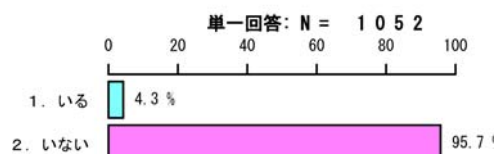
第三位を回答した人も 6 割より若干少ない程度いる。その人の 23.4 %が農地を指摘している。川・湖・海の指摘率も 22.9 %と高く、林地や草地の指摘もある。部分的に自然環境が残る住環境の人も多いようだ。



問 45

あなたご自身またはあなたのご家族の中に、このアンケートで話題としているような地域住民との話し合いが必要になるような施設の建設や造成に関わっておられる方はいらっしゃいますか？1 つに○印をつけてください。

最後に、身内に開発者側の人がいるかどうかを聞いた。95.7 %の人が「いない」、4.3 %の人が「いる」と回答している。



問 46

住環境の開発や保全に関する行政や企業の対応について、ご意見等ございましたらお聞かせください。

だいぶ長くなりますが以下に、回答いただいた内容をほぼそのまま列挙します。回答者が、公表を意図して書いておられるかどうかは不確かなので、固有名詞は極力伏せました。都道府県名なども、「わたしの県」という表現に改めました。また、どうしても読み取れない文字などもあり、その場合は○○などの伏せ字としました。

本当に多くの方が、住環境の問題に深く関わっておられ、問題の種類と見解の多様さについて改めて考えさせられました。

- (地下貯水槽の件でこのアンケートを記入しました) 大雨が河川に流れず、押す遺憾と雨水

が合わせて一本となり、10 遠方の市浄化センターへ行き放水される。管が細いため、汚水と雨水があふれるので、一時貯水するというもの。本来雨水管と污水管は別にすべきもの。

- 「里山を守る」活動方法を考えて広めてもらいたい。
- 「住民や人の意見を聞いてやるべき。」「有機公論に決すべし」
- 下水道の普及がおくれている。水道水やゴミ処理を民間に委託したほうがより効率的だと思う
- 焼却場建設は建設費の内訳の中で環境（公害）費の割合を公表すべきだ。原子力発電所は決めたこと決められたことをキッチリ守らず事故が多発。原発は危機意識もなく地域住民にかくし後で公表しあやまっている大企業でありながら信用できない。社員教育をやっているのか疑問？
- 情報公開が必要。地域住民の意見をよく聞く。何故、そこに必要なのか！? 次世代への配慮
- 宅地開発は近年少なくなってきたが、空家が目立つようになった。管理が行き届かない状態で地域の環境が良くない所がある。個人の財産とはいっても役所（役所の代わりを町内会と共にと）が指導されることどうか。農地も同様で放置された耕作地、都会で職を失った人達に呼びかけ、県（市）で指導して共に再生させる取組みなどどうか。予算がない、人手が足りないでは何もできない。どこかを打破しなければ。同時に定年退職した方々によるこんで参加（働いて、ボランティアなど）してもらおうようなことを役所が考えなくてはならない。（働きかけのリーダーとして）
- 近くに道巾 25m の道路があり、最近バイクや消音装置をはずした車の音のほうがやかましい!! 警察に云っても取りしまらない。バイクの販売店やメーカーでも対応してほしい（暴走族 magari）
- 地産池消と同じように地域のゴミは地域内で処理する。ゴミ施設からのエネルギーを地域で利用できるようなことを検討すること（地域暖房など）
- 人間社会が突出して、他動物との共存が不可能な社会になってしまっている。自然を大切にする資質が低下している。自分一人の社会観が高すぎる傾向。（世の為、人の為に）
- 民主党政権に代り工事途中の工事が切り捨てられるのは問題がある。なぜならそのことで生活設計を住民は替えているから。施設の建設等については住民の意見を充分に取り入れて行うべきであるが、住民も反対のための反対にならないことも大切である。
- 役所とは国民の役に立つ所だと思う、が、私の知る限り、我々の税金である高給をもらい、土日祭日は当たり前で休み、余裕あるくらしをしている。無休にし、休日は交代で取るべきだと思う。これこそ役所のあり方だと思う。・まず、創る事ありき。机の上だけで物事を決め、3〜5 年もすれば他の部所へ移動するから全て無責任。はじめから他人事。・真剣だと知恵が出る。中途半端だと愚痴が出る。いい加減だと言いつばかり。体質を改めるべき。
- （１）下水道の整備、（２）雑排水の問題、（３）日本全都道府県に浄化水槽設置を最優先にやってもらいたい
- （１）自然環境の「新しい開発」はストップすべき。自然を後世に残す時が来たと感じている。（２）行政は「法や規制」でのみ行動せず、「人道的」な面に重きを置き、「弱者」を助ける姿であってほしい。

- (1) 必然性についてしっかりと説明は必要、(2) 住民側は対象となる設備・環境評価に対する知識が圧倒的に不足。ゴネ得を狙っている様に思えることも多い、(3) 中国の様に圧倒的な規模とスピードを持った開発も絶対必要。これを行わないと近々中国に負けてしまう。日本人は住人の権利意識が強すぎると思う。
- 一住民にとって行政や企業の取り組み、対応等が不透明で見えにくい。わかりにくい。
- 22年4月からゴミ〇有料化になるので市民もなるべくゴミを出さない工夫をして(リサイクル等)につとめてゴミを減らして、有料化にしないようにしたい。
- 2年前まで焼却場で働いておりましたので、危険性も安全性も多少判っているつもりです。現在行政まかせではなく、企業へと流れているように思うが… ある程度の道筋は行政が導くべきと思う。その中で、何でもかんでも住民への説明は必要ないと思われる。
- 30~50年くらい先を見据えた長期展望に基づいた計画を立てて行政を行ってほしい。
- 3棟建設のうち、2棟は事前に話合いがもたされたが、1棟(別の建設業)は事前の話合い等一切されなかった。
- 3年前までは、自由に出入り出来て、釣りが出来たのに、柵をして出入り出来ぬようにして釣りが出来なくなり、現在延長工事を予告なく始められ、何で釣りをさせないのか、安全な場所なのに私を初高齢者の楽しみの1つなのに、市議員さんたちに頼んでいってもらっても、だめと言うだけです。ここではなく行くところいくところ釣禁止の看板ばかり自然の海を独占する海上保安庁なんかならないか
- 5年毎に環境再調査を行い不備有る場合は三ヶ月以内に改善すること。是、施主責任にて4回、20年間行い、動行を公報(市報等)にて地域万民に知らせる。
- CO2を吸収する森林を私有地(企業所有等)の開発申請があれば許可せざるを得ないということはおかしい。自然破壊を黙認していることと同じ、近い将来人口は減少する。山林を開発し住宅地とすることは反対。
- ECO関係の質問があってもよいのではないのでしょうか
- 大体満足している
- 建設計画の段階で環境影響調査等充分に実施したうえで、情報公開すること。この際、メリット・デメリットを隠すことなく公正な立場で、地域住民に納得のいく説明を開催すること。
- (1) 法に触れない理不尽な開発でも認可するという行政のやり方に疑問、(2) 行政による大企業への要請・指導が弱腰すぎる
- 行政不信の一言につきる
- 住民参加といわれるが、あえてそう言う必要があるとは未だそれが成し遂げられていないということでしょう。住民教育?も必要だと思います
- 後で、環境に悪いとわかるという新聞記事を見ると、あまり信用できない気がする。このアンケート結果は公開されますか?
- あまり期待していない(期待できない)

- ありがとうございます。地球の生きるもの全てが幸せになれるように。お願いします。
- アンケートに答えながら、自分が現在、国、行政、企業に対する信頼が、かなり少ないことを、自覚する結果になったことが残念です。
- 家の前に池（ため池農業用水）があるのですが、周りにサクがされていません。行政に連絡しても「池が水利組合のものなので何も言えない」と言われ、行政にはあまり頼りたくないと思っている。
- いきなり着工するな
- いくら必要だからといって、住民の安全・環境への配慮ができなくてはならないと思います。ヒトと環境が共存していける、持続可能な社会を形成してほしいと思います。
- 維持・管理を責任を持って十分確実に行って欲しい。
- 一般的に（大手）企業は世間の評価を気にするので、住民を無視するような理不尽なことは少ないが、行政は感覚が鈍いのではと思う
- 何時も感じることでありますが設置を反対してもなかなか思い通りにいかない事が多いように思います。
- 未だ経験がないのでわかりません。
- 今までの経験からどれだけ反対しても行政には勝てないしすでに住民が知る頃には話が進んでしまっていることが多い。
- 笑顔での社会奉仕ができたらいい。
- オンブズマン制度的なものを取り入れると、地域住民も納得できると思う。
- 開発することが前提の事前調査になりやすいように思えます。大学など客観的に調べるところがあれば、信頼できる。マイナス面もきちんと公開してくれているという姿勢を見せてほしい。
- 開発と一口に云いますが、とに角お金がかかりますから、あまりお金が要らないような工夫をしていただきたいと思います。なんといっても税金から支払われるのでしょうから勝手なことを申しました。
- 開発については、行政サイドから早目に住民に知らせること、（１）内容、（２）必要性、（３）生活とのかかわり合い、（４）これからのすすめ方（時間的なこと）
- 開発にはある程度の問題はつきものです。問題なく開発できるものはないと思います。皆それぞれに理解できたらと思います。
- 開発によって起こる自然災害の拡大が年をおうごとに大きくなってきている現状を、今、受け止めなければ、政府、行政が何を行っても日本の国はなくなってしまおうと思う。人が住めなければ国は成り立たないと思うから。
- 河川の汚れが甚だしいにもかかわらず対策を講じることなく放置したままの現状を何も感じない行政は本当に環境のことを考えているのだろうか。（建設省の自然破壊。ひどすぎる）未来に残すべき大切なものがまさに消えようとしている。

- 学校建設で、予定より遅れ、卒業生は入れないまま卒業だったので、予定通りに工事をして欲しい。
- 処理場の近くに住んでいます。住み始めたころは、準工業地域で、たまにですが、処理場の煙のにおいが気になることもありました。でも今は、住宅の方が多くなり、におい等も気にならず、処理場の工事があるときは、回覧が来たり、封書等で連絡があります。事故等もなく、今のところ安心して生活しています。今、増築を行っていますが、市民の生活の上で必要な施設であると考え、行政を信じております。
- 環境や人に対する悪影響を考えるよりも、企業・行政の利益ばかり優先している印象があります。
- 企業の行動が、法廷に問題になかったから住民の要望があっても行政はほとんど関わってくれなかった。建設地を行政が買い取って裏山の自然保全をと、提案を住民側が行ったが。
- 既存の施設の設備を最新モデルに代えることで仕事量が新規増設するより大きくなるようなシステムがあるといい。自社販売のごみは徹底的に回収して何度もリサイクルできる様努力してほしい。
- 基本的には必要な施設は賛成、造る時はいつも超デラックスだ。ただし、住民への配慮は、十分に行う事。そして、利権に絡む話が多すぎる。現大津市長も元々は土建屋なのでダムなど熱心だ。
- 行政&企業は、ヤクザ。自分の利益の為なら、住民の命は消耗品。過去の多くの事例がそれを証明している。
- 行政が責任もって説明会を作してほしい。事後配布書でなく。
- 行政企業とも自分たちの利益、権益を第一に考えているので、住民市民の立場など尊重しない。住民市民なども各々の利益権利の上で行動する。
- 行政と企業の正しい関係を期待する。裏金が動く、〇〇族の排除。
- 行政の対応が遅い。
- 行政の対応は企業と比べるとゆるい感覚がある。又、その時上の人によって対応の違いも大きいと思う。
- 行政の窓口がない（と言ってよい。問題が発生して右往左往する。）
- 行政はうそをつくことを前提にしていると考えている。説明を受けたところで信用できない
- 行政は現状の法律上、問題がなければよしとする対応でしかない。50年、100年先を見据えたビジョンがない。温暖化にしても今すぐにでもとりかかれる緑化などいくらでもある。長期、今すぐの両方で対応することが大事と思う。
- 行政や企業に対応するにしても大型の開発事業が計画された場合一般市民は専門知識がないので大変苦労する

- 行政や企業の対応は年々ようになってきていると思う。反面、一般市民（住民）の思考や行動が稚拙化しているように思う。マスコミなどの影響もあるが、無理難題をゴリ押ししたり、自分勝手な考えを押し付けたり、日本人のモラルレベルのほうが問題だと思う。
- 行政や企業は何か作り上げるときは一生懸命に説明、説きふせるが、後始末が悪く後から問題が起こっても取り合ってもらえないというイメージがある。なんでも行政や企業中心で住民はならされる、なれるようになっていくように思うが、新しいことを始めると常に戦いが起こりますね。
- 空気がずいぶん汚れている。大気汚染対策をしっかりと考えて欲しい。将来の生活や子供への影響が心配。
- 国・県に比べ市町村は不勉強で、情報集積の力がないため、こうしたプロジェクトは大きな負担になる。コンサル任せで、あとでトラブルになったりする。国・県または学術機関による事業のサポートシステムが必要。とくにダム、環境システムでは必要。
- 計画が決ってからしか説明なり住民への動きがないのが不満。（実際はわからないけどそうなのではと思っている。）
- 経済活動が優先されること 環境よりも !! 人間だからしかたないか？
- 経済活動としての開発のみで（建設業者の仕事増、不動産業の利益追求、商売人のマーケット拡大等）本当にその地域のその住民に必要なものをその住民が負担できる（金額）範囲でその地域の特性（町並み、自然等）を残して行っているか、行わせているか行政・企業は考えるべき（いっても無駄か !!）
- 健康に害を与え、保全をしない行政や企業には全く同意しません。
- 現在住んでいる地域に、ゴミ処理施設があります。結構街なので、引っ越して来るまで知らなかった。昔は、街ではなかったと思われますが、収集車の騒音、安全等を考えると、移転して欲しいなーと思いながら住んでいます。（除雪をしてくれるので助かっている部分もある）
- 現在の公共事業の計画に対し信用性に欠け、そこに住む住民の意見を考えていない。
- 公害問題に対する国の対応や企業の対応を見ていると信頼に値する事は全く見受けられない。利益優先、利権優先、いつまで続くのか。
- 公共事業に対する役所の対応がまずいと思う。竣工後の維持がほとんど無い様なので官・民共財産を長持ちさせる事に気配りを !!
- 公共施設は私の近所ではもういない。
- 公正な情報の開示
- 広大な土地を持ち年令的に野良仕事が出来なくなり、開発会社が入ってきた。
- 土地柄、自然が多いという現在の経済的な価値は少ないと思うが、自然（森や木）の多さがメリット・利益の対象となる様な国づくりを行ってほしい。
- わたしの県は馬鹿な知事のためにますます駄目になりました。裏金、ヤミ融資事件他

- 子供が産まれてからゴミの問題や環境についてとても興味を持つようになりゴミの分別、とても頑張っていますが、プラは普通ゴミとして燃やされるとききました。ゴミのことなどこれから問題ですよね。もっと行政が力を入れて頑張るべきだと思います。資源を大切に口ばかりな気がして。国民ともっと歩みより考える場って必要な気がします。
- このアンケートが行政の委託に基く事前調査でないという保証はあるのか。このアンケートに答えるメリットは？次は礼が必要だと思う。
- このアンケートが今後どのような形でかつようされるのかわかりませんが、有効に活用されることを期待します。
- このアンケートは本当に京都大学が行っているものなののでしょうか？担当教員の氏名をきちんと表示すべきなのではないのでしょうか？
- このような問題は政治的に利用されることが非常に多いので、要注意と考えております。
- このような問題について行政や企業は説明が下手だと思う。本当に必要なものであれば、もっと上手に噛み砕いてわかりやすく説明すればいいのに、とにかく難しくかっこよく説明しようとしすぎるので、余計に対応が悪いように思えてくる。噛み砕いて説明すると弱点が見つかるからで、弱点があるということは、それは本当に必要でないということになる。
- ゴミ焼却場のように私たちが生活する上で必要不可欠な施設についてはある程度容認しなければならないところがある。但し、バブル時代に立案した埋め立て事業等は自然を破壊してまで進めるべきではない。
- ゴミ焼却場は必要ですが、山の中で人家の少ない所、木がたくさんある所にあるべきです。隣がゴミ焼却場は生活環境が非常に悪い。林をとりこわし商業地を作るのも問題です。空気や水をきれいにする木々を大切にしたい。
- ゴミの焼却場を新設する以前の問題としてゴミの減量化ある。地域のゴミ収集場所へ行くと、資源として再利用できるものが沢山ある。(新聞紙、雑誌、○葉、料理残飯など…)これらは行政的に考えれば解決できる問題であるが、ゴミを出さない生活環境(過剰包装)を考える必要があると思う。地球環境問題としての根本的な教育が必要と思う。(生涯学習)
- ゴミの分別さらなる指導・生ゴミ出さない指導、行政が必要
- ゴミ屋敷、猫屋敷で困惑している。行政側も私有地内の事、本人の同意がない限り対応できないとの事。本人も住んでおらず空家である。条例等で解決してくれるよう希望する。
- ゴルフ場の造成により、山林がなくなる事が問題。首長等が(政治家の殆ど)県民・市民のことを考えず自分のための政治の様に思う。特に国会議員は手本となる様にしてほしい。
- 今回のアンケートの一例「ごみ焼却施設」について話せば、設置の必要性は、その必要性というものは十分に理解できるものだと思います。○○今のゴミ問題から。しかし、設置に関する説明会などについては、公的な機関の説明というものがどうしても納得できないのではないかと思います。これはテレビの放送などで、うそごまかしと言ったものが多く、まだまだ信用できない気持ち強いと思います。終わりに、今回のような環境問題のアンケートは初めてのことで素晴らしいことと思っております。このことが日本、世界のためのものとなることを信じております。

- 今回の例のように焼却場は必要ですが、自分の地域にできるとなると反対してしまいます。できるだけマイナス要素をなくすよう取り組んで欲しいと思います。基本は自分の立場になって対応してすることです。
- 米軍基地移転の候補地かというよな話が出たことがありドキッとしました。あのジェット戦闘機の騒音は、特別ですからね。しかし、どこかが受け入れなければならない問題です。県知事は反対表明をされましたが、本当に難しい。私はこのままの静かな県であって欲しいと思います。
- 先にも書いた様にこの地に住んでから元々焼却場が有りましたから特に困ったこともなく焼却した熱で温水プールも有りますし自分たちの出したゴミですし必要な場所ですし、私の答えは参考にならないかもしれませんね。
- 昨年 7 月に土砂災害があり、近所の方が災害にあわれました。他の地域の方がひどかったのかなかなか救助がありませんでした。なるべく皆さんに行き届くよう処置が出来たらと思いました。
- 琵琶湖に対する行政の対応には、いつも疑問に思っています。簡単にうめたてたり、湖岸に高層マンションを建てたり、水質の良くなる手配はしているのでしょうか。
- 事業に関わる人を住民が選べる仕組があれば。
- 事後報告じゃなく、意見を言える場を作って欲しい。例え、決まったことでも耳をかして、人の皆の意見を取り入れるようにして欲しい。
- 空港建設問題では県の姿勢がかなり高圧的で住民に対してのデータの改ざんなど信用を失うものが多かったと思います。市が同じようとは思いますが、いわゆるお役所仕事で住民を納得させようとは思わないでほしいと思います。
- 近隣に原発があります。東海地震が心配される中、なぜそれも震源地となる可能性が大きい所に原発を造るのか。電力会社は東海地震が起きても充分耐えられる設計になっていると説明するが、どんな天変地異が起こるかわからないのにどうしてそれが言えるのか。実際昨年 8 月に起きた震度 5 の地震ですでに故障が発生している。まったく信用できないし、問題が起きても、表面化させない体質もある。人間の想像などをはるかに超えることだって充分起こりえる。私は原発そのものに反対する訳ではないが現在の立地はダメ。
- 自然環境を破壊するようなことは行わない。
- 事前説明をしっかりと行い、同意を得てから行なってほしい。
- 事前の説明等が不足しており計画が動きだしてからの説明が多いと思う
- 事前の話し合いが大切だと思う。時間がかかってもしかたがない。
- 子孫にいまより悪くなった環境を渡したくない
- 市町村の計画したものに対して反対が出て押し切られてしまうことが多いように思われる。
- 始動時には沈殿浄化施設を作って検査をパスするが、その後タレ流しで排水はアワと色ですごく魚一匹住まない。大きな川でさえ色が付いてしまう。

- 市にお願いしても予算がないと答えがかえってこない。
- 市に度々と訴えます。小中高等学校・介護施設はどのような環境地に有地するのか私は疑問でならない。何故なら私の町は上記公共施設が5箇所もある。空気が汚い、冬場一人で出歩くには危険と思っている。人に対する配慮が見られない。本当に行政は市民の思いと逆の事を行う。国政も同じだ。
- 市に話ししに行っても、住民の問題であって市は関係ないと言う。言葉が信じられない！
- 自発的に協力するのが市民の務めと思います。
- 地元小学校の天井のアスベスト除去に関する説明会があった際に、市側が「安全だ」の一点ばりの説明にかなり不信感を抱いた。結局、市側の言いなりになるしかなかった。一般住民の無力さをいやがおうなしに感じる出来事でした。純粋な住民活動、市民運動とは何なのか？考えても答えがでませんでした。
- 社会が便利になる事はいいが、不便でも生きていく環境がもっと大切だと思う。命を考えた開発を望む。
- 住環境の開発や保全に対する今回の仮説である焼却場の事例は、企業や行政への責任に対しての必要性がある一方、焼却場事態の必要性、妥当性を住民自身が充分に問う必要があると今回のアンケートで感じた。
- 住宅地圏内に施設は造るべきではないし、行政で制限するべきで、住宅地圏内にどうしても設置しなければならない場合は安全圏内を設定し、保全の処置をすべし。
- 周辺環境を公園とか○行施○（活動）に活用し住民の不安を払拭する事が大切
- 周辺の住環境を180度変える様な、企業や行政は信じないし、建設計画が上っても徹底的に反対するし、子供たちのこれから未来のことも考えて阻止します。
- 周辺の田畑や山林が放置され荒れ放題で鹿が出没して困っている。又、高層マンションが増えてきているが、人口が減少する中、将来的な空住居（今でもかなりある）やマンションの空き室の増加を考えると20〜30年後を見据えた行政的な取り組みが必要ではないかと思っている。
- 住民運動にかかわった事はありませんが、市政のお知らせとかは見守っているつもりです。でも細かな事がよく分からないのでこんな事があったんだアーと後でわかる事の方が多いです。
- 住民が計画を知り得た時はすでに工事が着工されていることが多く撤回させることは先づ不可能に近い。
- 住民にオープンに説明することが肝要
- 住民に事前に話し合いが第一であると思う。このアンケートは、仮定の話であるが、順序を間違っては第一歩から進まないと思った。
- 住民に対し健康上、必要なデータの明治、その対応策を調査研究して災害が発生した場合の対応処理を計画し住環境や保全に関する行政企業は対応する計画を提示しておくと同時に定期的に住民と対話をして意見を聞き適宜改善処理することが必要で一度決定したものを絶

対変更することはしないという考えはなくしてもらいたい。点検処理をつねに考えて行く行政企業の心得をもって住民と行政企業の信頼関係を持ってもらいたいものだ。

- 住民の生活に絶対的に必要な施設については、最善の環境保護をめざすことを前提において建設を認めるべきと思う。なんでも反対では前に進みません。○令社会をどういう施策で○
○していくかが住民に課せられた課題と思います。
- 住民の為になる事だったら大いにやって欲しい
- 住民要望の基準が不明というか、どういう経緯での採択により事業が実施されているのかわからない部分を含んでいる。
- 焼却場のそばに越してきた。水道水だけが大丈夫かなーと思っています。煙はない。気にならない。
- 焼却場は、原発や基地と同様かそれ以下のレベルで（雇用増がない）嫌われているので、地域住民は必ず反対をする。行政の努力にも限界があると思う。又、行政も山奥でコストが増大すれば、ゴミ袋を高くするとか最後は金銭かということも必要ではないか。ゴミを出しておいて、自分の地域も金も嫌では通らないだろう。
- 小生の生家には巨大原発がある。そこには両親が住んでいる。先頃の地震で関連施設から出火したため、再稼動に県が難色を示し、数年間止まった。県はあまりにも慎重すぎるのではないか？小生は電力とはライバルの石油会社勤務だが、CO₂等環境問題を考えると、いかかかと思う。先頃他の原発で同様なことがあった。もっと臨機応変さが欲しい。
- 情報の早急な公開
- 将来孫達がよりよい生活が営める○にお願いしたいと思います。
- 人体に害があるかないかは、直接わからない場合が多くどれくらいで人体に害が出るかを言われてもなっとくできない。人体は人それぞれ害のていどの多さ少なさで個人差がでると思う。心配しなくても良い程度といわれても長年積み重なることを思うと次世代への害が心配です。いくら説明をうけても納得ということはできないと思う。しかし計画が進んでいるのならしかたない。あとは保証の問題になっていくと思います。狭い国土の中でどこかに作らなければならないのですが、えらばれた住民は本当に悲劇というよりほかはなく、害のない処理方法を1日も早くみつけて頂いて、今だけではなく長い目で日本を世界を守る社会にして頂きたいと願っています。
- 信頼すべき市町村が本当に住民の事を思い計画しているのかが理解し合えれば、計画側、住民側共々、幸せだと思い、理解し信用できると思います。少しでもこの様な世の中になれば良いなと思う日々です。
- 信頼できるものではない。問題隠しはしないで欲しい。すぐ結果が出るものではなく何年後となるので。今現在の技術（最先端）を使用して、調査しても、数値に問題が無いと言われても納得するものではない。何年かたって、その時にさらにすぐれた技術で調査した時汚染されていたことが簡単に分かる事のほうが可能性としては大きい。
- 水田を破壊してまで、農業用水施設を作るのは許せない。

- 全てオープンにすること。建設の必要性の問題から先に！
- 全ての住民が納得できる行政はないと思う。最大公約数（賛成多数）で決定されること（ばかりではないかも）なので仕方がないと思うが、行政側の発想（ゴミを減らすことを考えた政策）も必要なのでは、と思う。
- 生活道路に橋が必要な場所がありましたが、やっと認められて工事が始まりました。やっとまっすぐな道になるかと思うとうれしく思っていますが、予算の関係で一年半後に完成するとの事。夫と二人で毎日散歩にでて、待ちわびています。
- セカンドオピニオンじゃないですが、幅広く有識者（専門家）の意見を取り入れて、公用していただきたいです。
- 全体最適のために個別事情は二の次とし、強制執行する姿勢が必要。沖縄の基地も同じ。
- 騒音、振動、異臭、ほごりに関する情報は事前に通知すべきです。
- 造成などで説明会に時々出席しますが、比較的専門用語とか知識が多く、私たちの頭では理解できない部分があります。どのようにすれば自分自身理解できるかなと悩むことがあります。全般に渡って説明してくれる方がいたらいいなと思うことがあります。
- 対応が後手後手にまわる傾向がある。特に行政が。
- 大企業の幹部連中が、ただ利潤追求のための開発、拡張は目に余る。また、誇大に騒ぎ立てるマスメディアに溺れた軽躁なる日本人は、農業の盛んな仏国などを範とし、人間性、情感重視の原点に返らねば。蛇足の蛇足ながら、小生テレビは一切見ないが、一時期「必殺仕置人」というのは見ていた。
- 大量生産に依る COSTDOWN の経済原理（資本主義思想）の根本問題に世界が立ち至っている。政経両面に於て京都大学の出番が来た、頑張れ！源を正せ因果の世界に立ち帰って考えてもらいたい。
- 地域住民の事を一番に考えて欲しい。地域住民に対しての安全を第一に考えて欲しい。
- 地域住民の賛成を得て開発及び保全をすることは大切だと思うが、それに対して財政を投資する価値があるかどうかについても十分な説明が必要だと思う。一番重要なのは、地域住民に対する誠実で誠意のある対応だと思う。
- 地域住民への説明会のタイミングなど。後回しにならないこと。
- 力で押すのが現状だと思う。
- 地球規模での環境保全対策の推進、私達個々ではエコ生活の推進
- 地区に保育幼稚園があるのに、12階、15階のマンションが日照権の問題。町内会で運動（反対）するが、行政は話を聞かない。学校登校下校の問題（工事中）業者に注意しても反対に会社が話を聞き入れない。
- 町内会（建築委員会）で対応している

- テレビニュース等からの情報では、行政の対応の仕方に問題を感じることが多々あったので、今のところ自分の住んでいる周辺では問題ないが、自分に降りかかったときどう対応するか、自分自身わからないなと思った。考えさせられました。
- 当地区は閑静な住宅街ですが、昨今は高層マンションの建設が著しくなりました。その為、昨年末会合し、低層による住宅地を主体とした住環境の保全を図る様に地区計画（案）として市に提出しているところです。
- 特に民間企業は昨今 CSR の意識が曲がって浸透しており、過剰なまでに世評に気を遣い、法的にだけ正しくあろうとしている。一方、弱者という錦の御旗を掲げる偏向した大衆活動とマスコミの報道暴力が、あまりにも過激となっている。このような欧米系の訴訟社会ではなく、お互いに相手のことを思いはかり、穏やかに共存していく心豊かな地域社会でありたい。この研究目的が何かを弾劾するためのものにならないことを願う。
- とにかく、税金のムダ使いをやめ、国民の安全と環境を守って行政を行ってほしいと思います。住民の身近な行政を行ってほしいと思います。
- 富山市 1 の商業地ですが、ずい分廃れ、シャッターをおろす商店が多く人通りも少なくなりました。本年になって新たな百貨店が建ち旧百貨店や空ビルの充実に市役所、住民一帯となって市電通路や利用の方法、工事等進んでいます。しかし以前のようにするにはまだまだ日数や費用がかかります。
- どんな事も、開発着手前に、丁寧な説明会を開き、要望なども聞き、可能な限り説明を求める姿勢が必要だと思う。何故ここののか、住民にまた環境に配慮しているその姿勢で、理解を求めるべきだと思います。
- わたしの県は山野が多くあるために、廃棄物等の処理がずさんであると感じます。山野を造成して建てた場所の地下に有害なものがすてられていたりするようです。困るものが容易に隠されるようです。自然のすばらしいところですが、車を走らせていて突然道端に廃材の山をみたりします。行政関係者も目にしていると思うのですが何年もそのままです。気がついた私が何らかの行動をとらなくてはいけないのかとも思いますが … 少数派ではありますが、ホテルのとぶ里をめざしてホテルをとりもどしているという活動をしている地域もあります。近くにある農地では減農薬などの協力をしているのでしょうか。
- 納得のいく説明をしっかりと、してほしい。
- 何事も「その時の勢」「成り行き」で決まってしまう傾向が強い。あらゆるバランスを考えて正しい判断をすることは難しい。理想に近い判断をする人材グループが必要。
- 何事も収益に拘束されることなく、地域住民の視点に立って事前（計画が立案された時点）に話し合いをすることが肝要かと思われます。
- 何につけても住民への PR 不足。住民が認識時にはすでに内定。
- わたしの県の行政は余り住環境への保全には力を入れていない様です。（一部新住民の多い住宅地域以外）
- 人間が生活していくにはゴミが必ず出るものである。それをどこで処理するかが大きな問題であると思う。行政や企業は、よく説明をし、安心・安全な施設を設置することを住民に納得してもらうことが大切であると思う。

- 農地がたくさんあるので困る。子供が農業行わないので。
- 早く、市街化区域に変更して欲しい。
- 必要性のないにもかかわらず国の予算が出たからそれを使わないと損だと思って役所の人は（建設業も）何が何でも実行しようとする態度が許せない
- 必要な道路や、ゴミ処理場はどこかに建てなければならないと思います。私は今、高速道路やゴミ処理場の近くに住んでいます。アレルギー性鼻炎や、ぜんそくが持病です。（家族もです。）以前に住んでいた所では、ぜんそく治療費が無料になるといったケアがあると聞きましたが、私が今住んでいる県にもそうしたケアがほしいなと思います。
- 必要不可欠のものは時間をかけて住民の要望を良く聞き、じっくりと取り組んでもらう事と思いますが、住民の方も理論的な反対ばかりではなく意地になる反対もあるので難しい。ていねいにやるより他ないのではないかな。
- 便利になる＝自然破壊ということを考えて頂きたい。これ以上開発に力をそそぐではなく、もっと保全＝地球を守る方向性で考えて頂きたい。
- 法務局で造った刑務所の仮出所者が入所する施設（完成済）でその施設及び使用方法について地域の同意があるにもかかわらず他の一部の人達の為現在使用されていない。敷地は以前刑務所鑑別所拘置所があった所に連○された物件であるが、以前は何の問題がなかった場所である。住環境が悪くなるとの事で話し合いを続けている所です。他の地域の同様の施設はすでに開所をしています。
- 本当に近住民の事を考えてる行政や企業は少ない気がする。自分たちの利益よりも大切なことがあるはずだからそっちを優先してほしい。大したこと書けませんけど役に立てば幸いです。
- 交事やなんかも、もっと事前に「何の為に必要なのか」という事をきっちり提示してくれれば良いのに、と思う。気づいたら「～なんかやってる…」という具合の事が多いと思う。そこに直接住まなくとも、生活エリアの話だと子供もいるし気になります。車の出入りなんかもあるし。
- まず住民の意見を優先する事
- まだまだ“ゴミ”そのものを出さないよう根本的問題から見直す必要があると思う。
- 緑の森（小さいが）が企業のマンションに変わり、住んでいた小動物が車にひかれていたり、カラスが住宅地に多く来たり…。空地や森（緑）が少なくなることで反対運動があったが結局は建ってしまった。人工島も市にとって本当に必要だったのか。財政を圧迫して、豊かな市とはとうてい言えない。
- もっと住民の声に耳を傾けてほしい。子供の意見でも参考にしてほしい。
- 郵便ポストの立ってる間隔の距離が遠すぎると思います。今は高齢者が多くなってます。ハガキを出すにもポストが遠いので大変に不便を感じてる人が多いでせう。もっとポストの間隔を近く数をふやして下さいお願いします。
- 養鶏場は国民に卵を届けるために必要である。しかし河川の汚染、異臭、夏場のハエ、ムシの飛来には困惑している。異臭や虫は建設後でないと理解できない。

- よくわかりません。でも近くにこのような施設があったらここに住むことはなかったと思うので、(健康被害がこわい) 説明にはなかなか納得できないと思う。
- 予算を使うことが目的のような計画はやめていただきたいです。
- リサイクルできるものを作ってもらいたい。ゴミにならない、ゴミを増やさないことに力を入れてほしい。
- リニアが通るから山を削り、谷間を作るだけ作って、もう 10 年以上そのままの状態が続いています。谷間には、家庭ごみが、出始め、企業の人々の粗大ごみのあらしです。決して、環境に良いとは思いません。ロープを張って立入禁止にするだけでは、ごみは減りませんし、増え続ける一方だと思います。早くリニアを通すなり、埋め立ててほしいです。
- 私が住む地域にはいまのところ何事もないのですが、最近の世の中(政治、企業関係)を見ると、信用できないことばかりが多い。そのため各種施設等の建設等に関する説明なども信用できなくなってしまう。またそうなるにつれて自分が悲しいとも思う。
- 私の市でも焼却炉が老朽化し第二の候補地をさがしています。もし出来たら思いヨーロッパ等にも行き勉強中です。私の地区は準工業なので鉄工所等があり、出入りがはげしく、公共の道路がでこぼこしていたり、鉄クズ等が落ちていて、散歩の際に困ります。市に言ってもすぐ対応しないことが多いので、言いません。又、用水路もありますが、ゴミや泥だらけで町中の一部は、市も力を入れてきれいにしますが、郊外のことはなかなかしてくれないので困ります。
- 私はごみ焼却場で運転員をしています。人間が生きる限りごみは出ます。分別ごみの早期対応がマナーの向上がいちばんと思います。
- 市からのアンケート依頼があったのかと思うようです。近隣の埋立地に焼却場でも出来るのかと思っちゃいました。
- 嘘をつかない、知らなかったと言わないようにしなければならない。
- 仮定の話なので答えにくい
- 河川が大変きれいになってきており、サイクリング道路も整備されていますが、川の中の草木にビニール等が絡まっているところも多く、これ等の清掃について検討してほしい。(周辺住民への協力等)
- 開発することが前提の事前調査になりやすいように思えます。大学など客観的に調べてくれるところがあれば、信頼できる。マイナス面もきちんと公開してくれているという姿勢を見せてほしい。
- 開発や保全について行政や企業は、地域住民が納得できる説明をし、科学データやその対策、対応などを十分に説明すべき。はじめから不十分な説明で、事業を進めようとしたり、反対する人を敵にしたりするのは良くない。
- 各種の企業が、多からず点在している状況下に居住しており、特別な問題なし
- 官や企業の発表等についてあまり信用しない

- 環境アセスの開始前に、周辺に提示が必要。安全であるとしても施設があることによる不利益に対してどのくらい保障していくのか示す必要がある。
- 環境のいい場所（図書館、美術館、高等学校、中学校、小学校）が立ち並ぶところに、建設するのかわかりません
- 機会ある毎に、行政や企業はオープン化することになるように話し合うこと。
- 教育の一貫として特に家庭、学校はもちろん一般人まで考えること、本やパンフレットではなく実際に体験が必要です。
- 勤務先に近いということもあり、親戚がすでに近くにいて、引っ越し後、建物がテレビのアンテナを遮る問題が起こり、市側から何度か説明会が開かれました。その時の対応を思うと前向きに住民意見を配慮されてたと思う。車が行き来する点は、人としてごみを出している以上、仕方のないこと。またにおいに関しては、川の向こう側に流れるようで、30年間以上の中で不快に感じたことは数えるほどだった。今年ようやく年金生活に入り、元の家に戻ることも考慮しているからかもこのような解答がでた …?
- 近住民の理解を得るための対応が必要、建設・開発の必要性及び建設地決定の経緯についての説明、説明会・市の広報での市議会での審議状況、計画内容の説明
- 空地になったところには、マンションがすぐに建設されますが、地震が起こったとき大丈夫なのかと疑問に思います。
- 健康面で害になることだけはやめてほしい
- 県庁に行ったときに、非常に暇そうにされている職員を多く見かけました。もっと無駄を省いて環境に力を入れてほしい。
- 見た目はきれいな町作り、長い目で本当に住んでいる人が住みやすくなったかどうか、無駄にお金を使っているのではないか、市民の声を聞くことも大事だと思います。
- 原発、空港などの隠蔽、県のごり押しを見ていて、行政に対しての信頼を持ちようがない。社会貢献につながる論文を期待します。
- 現在住んでいる場所から、2時間程度車で走ると山々に入ります。辺りは続いて杉が植林され、今では、何も手入れもされず、立ち枯れが目立っております。その一方で、山を削り、着々と住宅地が造成され、木が切り倒され、川が汚れ、山崩れが発生し、自然もなにもあったものではありません。5年10年先ではなく、もっともっと長いスパンで、人・自然との関わりを有識者は考えてほしいものです。
- 現在焼却場の建設計画はありますが、議会で費用の関係で建て替えか補修かで議論されているようなので記入しなかった
- 現住所は県庁所在地ですが、全市にわたり、ゴミ集積地がなく、電柱等にひもとネットで集積し、カラスによるごみの散乱の態は開発途上国以下です。年々商店街はシャッター街化が進み、住環境は悪化途上にあります。
- 現状のままでいいと思う

- 公共性のあるものを建設するといえども、嘘、隠しなく話し合う場が肝心である。工事側は都合の悪い事は隠し、住民も冷静さを失わず、双方とも信じ合い孫子供の子まで誇れる代表的な施設を作るべきである。
- 公共性の高い場合は、住民工ゴは慎むべきである。ただし、行政・企業は誠実な説明を。特に大事な点は完成後の住民への配慮である。行政は作ってしまえばの感強し。
- 行政に関しては、まだまだ対応が遅かったり、柔軟性が無くほんとうに税金で給料が出ている意識が低いと思う。
- 行政は既存の施設の再評価をする必要があるのではないか
- 行政は大企業の計画に対して住民の立場で検討をして良いので、見直しを提案しても事業は進行。しかも企業は、地域の連合会にわずかな迷惑金を出し、個々の住民の意見を聞く姿勢がない。
- 行政は都合のいいところのみ発表し、都合の悪いところは公表しないことが多い
- 行政は無駄をなくした適正な公共事業を、企業は地域住民に極力配慮する企業努力を行ってほしいです。
- 行政も企業も思いやりの心を持って住民に対処してほしい。
- 行政も企業も信頼できない
- 行政も企業も声の大きいところへの対応に傾いている。地方議会が住民の声をくみ上げ、反映させるルートとして機能しない。
- 行政や企業には、隠したり誤魔化したりせず、正確な情報を提供してほしい。そして地元住民には、自分の利益だけでなく、地域や国にとってメリット・デメリットをしっかりと判断してほしい。
- わたしの県は道路が多すぎて常に工事をしている。年度末の工事にはうんざりです。
- 高齢者が安心して住める、健康維持に必要な施設があればと希望しています。
- 国土保全の重要さがあまりにも政治家自体にわかっていない。きれいな水が保全してある山を大事にしてゆくことが、生きる為に必要なことである。
- 国道バイパスの騒音、工業地の騒音に悩む
- 国道をはさんで向こう側は公共施設があるため、便利開発されているが、私側はいっこうに発展しない。置き去りであり不満を持っている。都市ガスは向こう側へはあり、こちら側は来る見通しもない
- 今以上に自然を壊さないで、少々の不自由さを残してほしい
- 今回のアンケートについて、若干「開発反対」抑止戦略が見え隠れしますが、善意で活用されるよう期待します
- 今建設中のダムが道路があまりにも広くて立派なもので、これだけの設備が本当に必要だったかとそこを通る度に思う。かなり造成されたので自然も費用ももったいないと思った。

- 今住んでいるマンションは5年前に親が購入したものです。最寄りのJRの駅がもっとマンション側に近くなって再建築されるというマンション会社からの情報からも購入を決めました。が、いまだになんの建設もされておらず、本当に移転するの？という感じです。今日のゴミ焼却の件とは少し違うかもしれませんが、このような駅移転の話もほとんど説明などはないのが現状です。
- 今年瀬戸内海島めぐりの芸術案を計画。消極的な県民も少しずつ自覚し始めた。エーゲ海に勝る自然を活かしてほしいです。
- 阪神大震災後、何かと細かいことうるさい世相になり現在の日本では、ごまかし他、マスコミが取り上げるので、ある程度、正しく物事を運ばないと長続きしないと思うから、親切に対応している企業も辺面人間関係では難しい面が出てきている様な気がする
- 市県議会は、時間をかけて、住民側への計画を周知し賛成の意見をもっと実施すべきである
- 市町村の計画が発生した場合、まず、市民に説明を実施する事が大切である。説明が後回しになった場合、必ず反対され、計画が進まなくなると思う。
- 指示を守っていない。かつて山、林、田、畑であった広大な場所が開発され、工業団地として整地されたが（15年位前）、現在多くが活用されずにいる。市民（住民）の為の公共施設（グラウンド、体育館等）の建設に一考願いたい。
- 私の家の南側に環状線が出来てから自動車の往来が激しくまた排気ガスで空気が汚染され、いつも気管支に影響しています。それというのも郊外や山道を散策すると不思議に症状が消えるのでよく判ります。
- 私の住んでいるところは普通の住宅地で変わったところはありません。アンケートに協力できなくてすみません。
- 私自身、25年くらい大手建設会社に勤務していたので必要性を考えたとき、一主婦として複雑な思いもあります。企業が発展しないと国も繁栄しないので。
- 事が起こってしまってから、対応することが多いのではないか。近所に太い道路が出来たとき、信号機がない交差点がいくつもあったので、自治会が警察に聞いたら、1箇所数十万円の費用がかかると言われ、設置を断念したとの事。しかし、後日そこで死亡事故がおきたら、みるみるうちに信号機がついた。
- 事前に必要性や将来ビジョンについて地元住民に丁寧に説明し、納得を得る努力が絶対必要
- 自身の経験にはありませんが、TBS「うわさの東京マガジン」を見ていると市や企業側の主張は一方向的であり、反対側調査結果といつも対立しているようです。常に両方（メリット・デメリット）を明らかにし、必要性・根拠を明確にして話し合いしてほしいと思います。
- 自然に配慮した工法で開発する方法⇒近自然工法などで開発・保全してほしい。
- 自然環境の保全（緑と水）
- 自分たちの足で歩いて調査しましたか？（しっかり聞き取りしてください）
- 鹿児島でも焼却場の建設予定がありますが、取り上げる番組、情報公開がほとんどなく、判断のしようがないので、公報で取り上げてほしいと思ったりもします。

- 実際にそのような状況に直面したことがないので、なんともいえないが、産廃の不法投棄の対応（同県内）を見ると、行政はいまいち信用できない。
- 主人が地元の出身ですが、最近新しい住宅街が出来ています。山を切り開いて作っていますが、主人と義兄があんなところ危なくて買うもんじゃない、と言っています。企業は、利益追求に走り知らない人には、売ってしまえ的になり、安全は考えていないのかなと思ったりします。
- 住環境が大切なことですし、ゴミを出すのも住んでいる人々で、自分の地域には反対と言う自分勝手な面を持っていると思います。ゴミを少なくする方法を各自が考える必要が今求められていると思います。
- 住環境への影響は焼却場や工場よりもマンション開発のほうが深刻です。
- 住宅地の狭い道路に大型車トラックが入ってくるので、歩行者や、車のすれ違いなどが、とても危険！
- 住宅地域に健康や環境を害するものをつくることが考えられない
- 住民に説明がある時点で、計画が進んでいることが多いので、もう少し前の段階での説明が必要だと思います。結果が楽しみです。経済的な分析がどのように活かされるのか知りたいです。がんばってください。
- 住民に対して徹底した説明が是非とも必要だと思います
- 住民環境が良いように生活できるようにもっと上の立場の人にしっかり言ってほしい。また高齢者が増える現在において生活しやすい楽しく暮らせるように活動、企画をしてほしいです。
- 住民健康、環境への影響等隠蔽せず、正しく表に出していただきたい。
- 住民団地を県営開発したのでその地域は非常に良いのですが、近辺は田畑を個人で売却しているので住宅が出来るが道路等は広くないので困るようです。
- 出来るだけ自然を残してほしい。
- 将来の発展のためには多少の犠牲はやむを得ないと思う。その分保障を確立してもらいたい。Q27以降は、現在稼働中のため前の質問の通りです。
- 場当たりの環境美化はやめてほしい。近所の公園の池は、数年前まで三回くらい作り直した。近くの河川敷に作られている小さなビオトープ（数年前）も今では、まったく手入れされずに荒れ果てている。市の広報にも説明はないようだ。財政難でゴミの有料化の説明はあるのに
- 新興宗教団体が近辺の住宅地を買収している動きに不快を抱いています
- 身近に起こったことがないので、報道等でしか情報がなく、信用できない不信感をあおる様な情報しか知らないのも、現実にはどういったことが起こり、行われているのかが分からないと、このアンケートを通じて感じました。

- 人間性の劣化がこのところ激しい。今後数百年ぐらいでは解決しそうにない。千年はかかるだろう。まともな人間がまとも生き方が当然になる時代にならない限り次から次へと問題が発生する。
- 税金の無駄遣いが多く、有効活用されていない部分があったので、最近特に不信感を覚える。
- 昔は工業地域でしたが今は住宅地なので問題はありません
- 説明が十分かどうかは賛否を判断する材料が提供されたかどうかを基準とすべきで、反対者を説得・納得させることは説明の目的ではないはずであるが、わが国では、コンセンサス社会の為「議論を尽くす」ことを求めすぎる。反対者に負担を強制する条件を確定するための一般原則を模索すべき。
- 説明するときに嘘をついてほしくない
- 先々を読む力不足を地方行政には感じます。またお役所仕事の隠蔽体質は、一昔ほどではありませんが、相変わらず残っているように思えます。
- 大手ゼネコンばかり仕事がまわり、政治家の出身地のみが大きく発展していき、必要のない開発が行われている現実を変えなければいけないと思う。
- 大地に施設並びに建造物を（住宅含）を建築する場合は、自然環境を最も重視する事が肝要と思う。空間こそ全てを満たすものと思います。
- 地域、住環境に影響を及ぼすような施設等の建設に当たっては計画に着手する以前に関係する住民に対して十分な説明を果たし全ての疑問懸案が解決しない段階においては計画そのものを白紙とすること
- 地域に必要と考えられる工事も、特定の企業と国（中央）の力が結合したとき生れる。利益集団が目立ち始め反対運動が発生する場合が多い。計画段階から住民の
- 地球温暖化が悪化しないような開発が進んでほしい
- 地球温暖化を一番に考慮して開発願いたい。
- 町内会長さんが世話好きな方である意味助かってまして、行政とも掛け合ってくれ、不自由なく暮らしています。
- 長期的なものの見方が出来ていないと感じます。良いことも悪いこともあらゆる可能性について見切る力があってこそその行政が望ましい。
- 点検の結果をその都度報告し、悪い数値はその時点で修繕する。隠蔽工作をしたりするから大事になるのでは。一般の業者には厳しく、許可の取り消し等が行われる。修繕するには多大な資金も必要となる。税金で何もかもされると市民の負担も増えるので慎重にいただきたい。
- 田舎の污水处理施設の設置など、難問のこともある
- 都市への一極集中が進み、地方が過疎化している。日本全体が総合的に発展するような国家プロジェクトがあるべきだと思う。このままだとますます都市が過密化して澄みにくくなる一方、地方も大変だ。国鉄民営化、郵政民営化で、全てが儲け主義になって利益があがらないところを切り捨てた政策がそうさせたのだと思う。

- 道路を作ったが、すでに決まった状態であり、個人の家がすぐはたにあるので、震動が多くあり、窓がゆする。車が通るたびにガタガタと音が響く。家が傾いてきた。もっと家から離して、道路を作ってほしかったが、聞き入れられず、今でも困っている。こんな近くに作らなくても場所はあったのに、どうにもならない。
- 特にはないが、新しいことを始めるたびに自然が削られるのは痛々しい。事前にじっくり話し合って目先の利益にとらわれないでほしいと思う。一つしかない星の自然だと思う。
- 日本の様な技術レベルの高い国は環境問題に対して、もっと自然と調和させる事を世界に先駆けて先進的にやってほしい
- 廃棄やゴミ（家庭で出る）を山道近くの山林に車で来て放置していく者がいる。ゴミは山のようにになっているが行政は個人の土地なので…。住民と向き合い片付けの方法等を一緒に考えてほしい。
- 民間企業には、雇用や経済活性化が期待できるが、行政の機関はいまいち期待できないと思います。
- 明確で嘘のない説明をしていただく。そして、住んでいる人たちが納得されるまでやってほしい
- 役所の住民に対する姿勢に問題がある。公務員個人個人の資質に問題があり、「住民のために」という考えが少なすぎる
- 利益ばかりを考え、将来設計が甘すぎると思う。

アンケートは以上です。同封の返信用封筒に入れて、2月18日迄にご投函ください。多大なご協力ありがとうございました。